

令和元年度

ボランティア・市民活動に関する意識調査
報告書



我孫子市



中央学院大学

令和2年3月

目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 留意点.....	1
II 調査結果.....	2
問1 あなたは、この調査の前までに市民活動という言葉を知っていましたか。.....	2
問2 あなたは、ボランティア・市民活動に関心はありますか。.....	3
問3 あなたは、ボランティア・市民活動に対してどのようなイメージを持っていますか。	4
問4 あなたは、どのような活動が地域で実施されているか知っていますか。.....	6
問5 あなたが、地域の活動やイベントを知るために情報を得るのはどのような媒体ですか。	7
問6 あなたは、ボランティア・市民活動のどのようなところに期待していますか。....	8
問6-1 問6で「期待していない」を選択した方に伺います。.....	9
問7 あなたは、ボランティア・市民活動に参加したいと思いませんか。.....	10
問7-1 問7で「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した方に伺います。 参加したいと思われた理由についてお選びください。.....	11
問7-2 問7で「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した方に伺います。 どのような分野の活動に参加したいと思いませんか。.....	12
問8 問7で「参加したくない」、「どちらかといえば参加したくない」と回答した方に伺い ます。参加したくないと思われた理由についてお選びください。.....	13
問9 今までどのような形態でボランティア・市民活動に参加したことがありますか。 .	14
問10 今までボランティア・市民活動に参加したことがある方に伺います。参加したこ とがある活動はどのような分野ですか。.....	15
問11 今までボランティア・市民活動に参加したことがある方に伺います。直近3年間で、 どのくらいの頻度で活動を行っていましたか。.....	16
問12 ボランティア・市民活動に参加する際、どのような活動であれば参加しやすいと思 いますか。.....	17
問13 ボランティア・市民活動を盛んにするには次のような方策が考えられます。この中 で特にどのような方策が必要だと思いませんか。.....	18
問14 地域コミュニティの活性化を図るために、「地域会議」の実施を推進しています。 地域会議のような取組は必要だと思いませんか。.....	19
問15 地域会議が自分の住む地域にあればより住みやすい地域となると思いませんか。 .	20
問16 あなたは、今までに自らの意思で寄付をしたことがありますか。.....	21

問16-1	寄付を行ったことがある方に伺います。あなたが寄付をした団体等はどこですか。.....	22
問17	現在、企業の社会貢献活動が全国的に広がっています。そのような企業の社会貢献活動についてどのようにお考えですか。.....	23
問17-1	企業の社会貢献活動について「期待する」、「どちらかといえば期待する」と回答した方に伺います。どのようなことに期待していますか。.....	24
問18	あなたの性を選択してください。.....	25
問19	あなたの年齢を選択してください。.....	25
問20	あなたの我孫子市での居住年数を選択してください。.....	26
問21	あなたが住んでいる地区を選択してください。.....	27
問22	あなたの職業は、次のうちどれに当たりますか。.....	28
問23	あなたの世帯構成は、次のうちどれに当たりますか。.....	29
問24	あなたが、我孫子市の中で誇れるものや愛着のあるものを選択してください。..	30
問25	あなたの世帯全体の年間収入（税込み額）は、およそどのくらいですか。.....	32
Ⅲ	クロス分析.....	33
Ⅳ	総括.....	54

I 調査の概要

1. 調査の目的

社会課題が多様化していく中、行政だけでは対応することが難しい課題が増え、共助の重要性が高まり、ボランティア、市民活動団体に係る期待は大きくなっています。一方、我孫子市では、ボランティア、市民活動団体にかかわる方の高齢化が進んでおり、新たな担い手を見つけることは喫緊の課題となっています。

本調査は、地域でのボランティア・市民活動の認知度を把握するとともに、活動への参加の有無やどうすれば参加する気になるか等、我孫子市内の現状を把握し、今後の市民活動支援施策の検討を進めるほか、市民活動支援の方向性を決定する基礎資料とするものです。

また、本調査は我孫子市と中央学院大学との共同で実施しました。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域 我孫子市全域
- (2) 調査対象 市内在住の18歳以上の男女3,000人

〈年齢別の配布数について〉
若い世代の回収率が低いことから、一定の回収数を確保するため、18歳～59歳に多く配分しました。
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回収
- (5) 調査期間 令和元年8月13日～9月13日

3. 回収結果

- (1) 配布数 3,000
- (2) 回収数・割合 1,064・35.5%
- (3) 有効回収数・割合 1,046・34.9%

4. 留意点

(1) 集計について

図表に使われる「n」は、各設問に対する回答者数を表します。

比率は、全て百分率(%)で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。したがって、数値の合計が100%にならない場合があります。

また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい設問(複数回答)については、合計の比率が100%にならない場合があります。

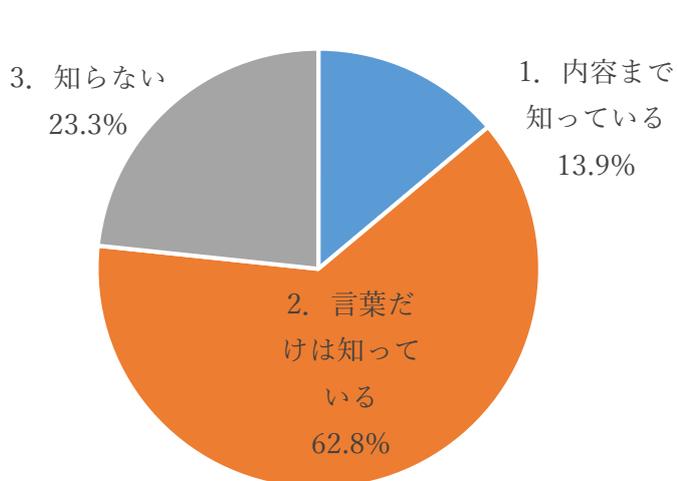
(2) 用語の取扱いについて

図表及び文章中で、選択肢を一部省略して用いている場合があります。

Ⅱ 調査結果

問1 あなたは、この調査の前までに市民活動という言葉を知っていましたか。
(一つを選択してください。)

- ・一番多い回答は、「言葉だけは知っている」(62.8%)、次いで、「知らない」(23.3%)、「内容まで知っている」(13.9%)となった。
- ・「内容まで知っている」、「言葉だけは知っている」と回答している方が全体の76.7%であることから、“市民活動”の認知度は一定程度高いことが分かる。

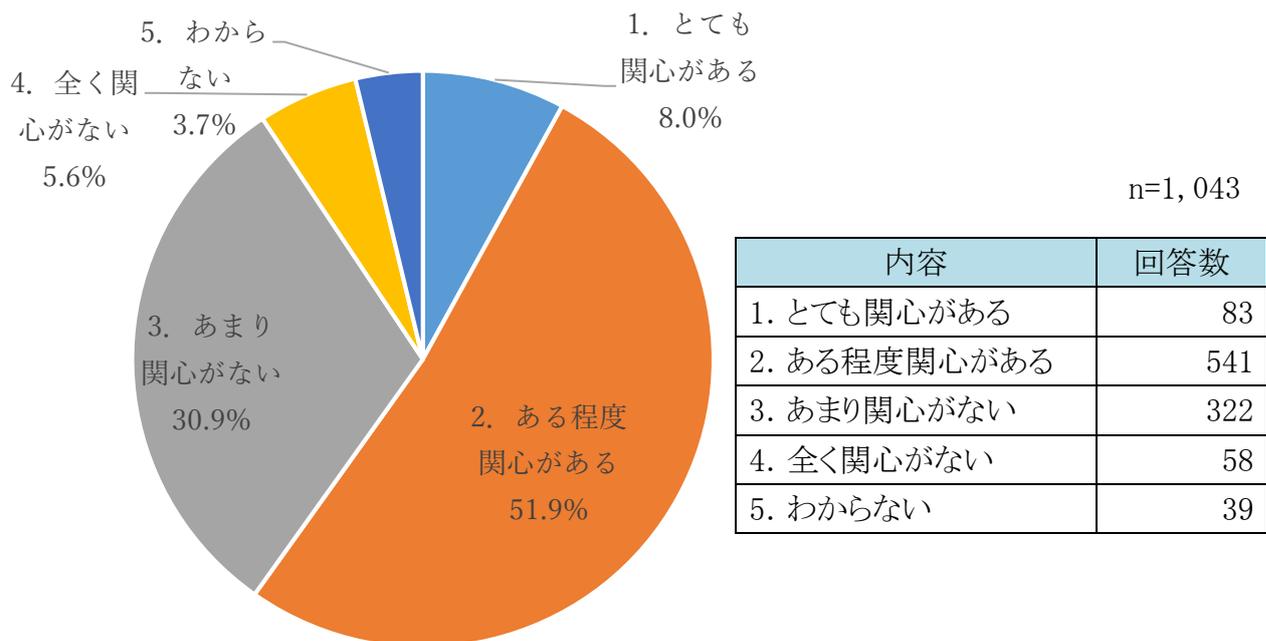


内容	回答数
1. 内容まで知っている	142
2. 言葉だけは知っている	644
3. 知らない	239

問2 あなたは、ボランティア・市民活動に関心はありますか。

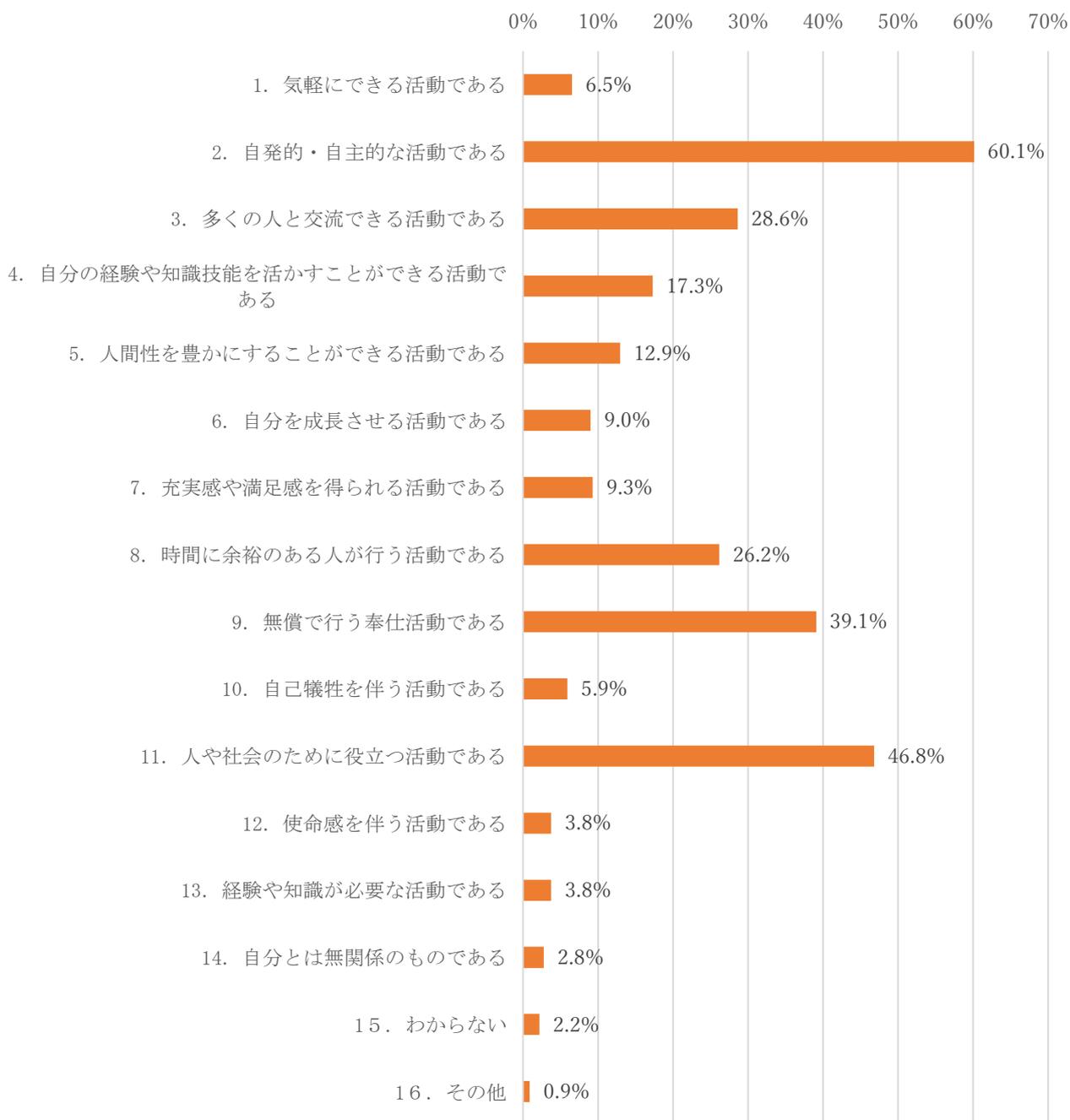
(一つを選択してください。)

- ・一番多い回答は、「ある程度関心がある」(51.9%)、次いで、「あまり関心がない」(30.9%)となった。
- ・「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方が59.9%、「あまり関心がない」、「全く関心がない」と回答した方が36.5%であり、“関心がある”と回答している方のほうが、13.4ポイント多いことが分かる。



問3 あなたは、ボランティア・市民活動に対してどのようなイメージを持っていますか。
 (該当するものを最大3つまで選択してください。)

- ・一番多い回答は、「自発的・自主的な活動である」(60.1%)、次いで、「人や社会のために役立つ活動である」(46.8%)、「無償で行う奉仕活動である」(39.1%)となった。
- ・一方、「自分とは無関係のものである」(2.8%)、「使命感を伴う活動である」(3.8%)、「経験や知識が必要な活動である」(3.8%)は他の回答と比較すると低い数値となった。



n=1, 013

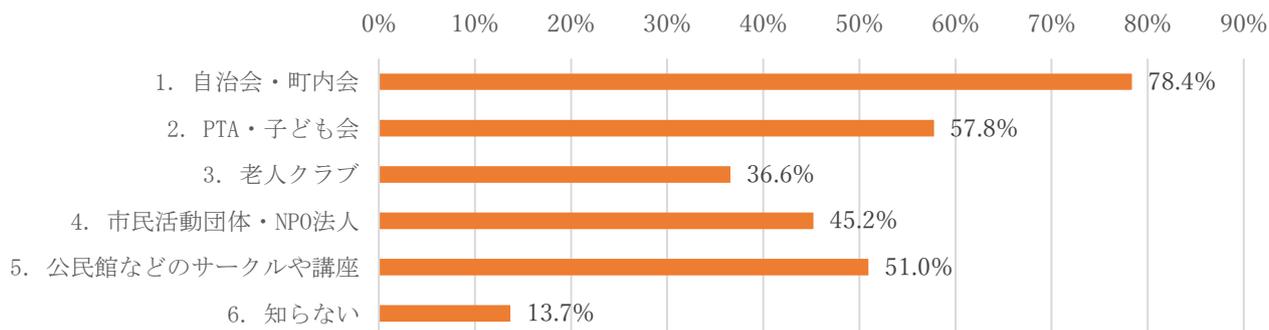
内容	回答数
1. 気軽にできる活動である	66
2. 自発的・自主的な活動である	609
3. 多くの人と交流できる活動である	290
4. 自分の経験や知識技能を活かすことができる活動である	175
5. 人間性を豊かにすることができる活動である	131
6. 自分を成長させる活動である	91
7. 充実感や満足感を得られる活動である	94
8. 時間に余裕のある人が行う活動である	265
9. 無償で行う奉仕活動である	396
10. 自己犠牲を伴う活動である	60
11. 人や社会のために役立つ活動である	474
12. 使命感を伴う活動である	38
13. 経験や知識が必要な活動である	38
14. 自分とは無関係のものである	28
15. わからない	22
16. その他	9

その他 主な意見：

- ・責任を伴う活動である
- ・気軽にできない。
- ・うさんくさい など

問4 あなたは、どのような活動が地域で実施されているか知っていますか。
 (知っているものをすべて選択してください。)

- ・一番多い回答は、「自治会・町内会」(78.4%)、次いで、「PTA・子ども会」(57.8%)、「公民館などのサークルや講座」(51.0%)となった。
- ・「市民活動団体・NPO法人」の認知度は45.2%と全体の半分以下の数値となった。

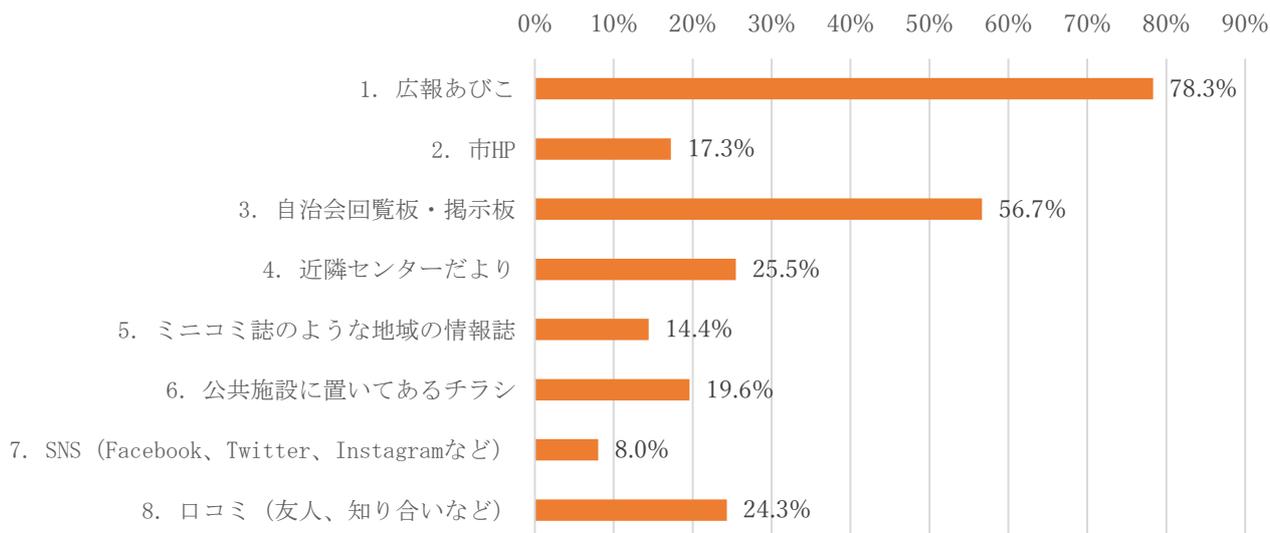


n=1,044

内容	回答数
1. 自治会・町内会	818
2. PTA・子ども会	603
3. 老人クラブ	382
4. 市民活動団体・NPO法人	472
5. 公民館などのサークルや講座	532
6. 知らない	143

問5 あなたが、地域の活動やイベントを知るために情報を得るのはどのような媒体ですか。
(該当するものをすべて選択してください。)

- ・一番多い回答は、「広報あびこ」(78.3%)、次いで、「自治会回覧板・掲示板」(56.7%)となった。
- ・「市HP」(17.3%)や「SNS」(8.0%)は、他の回答と比較すると低い数値となった。

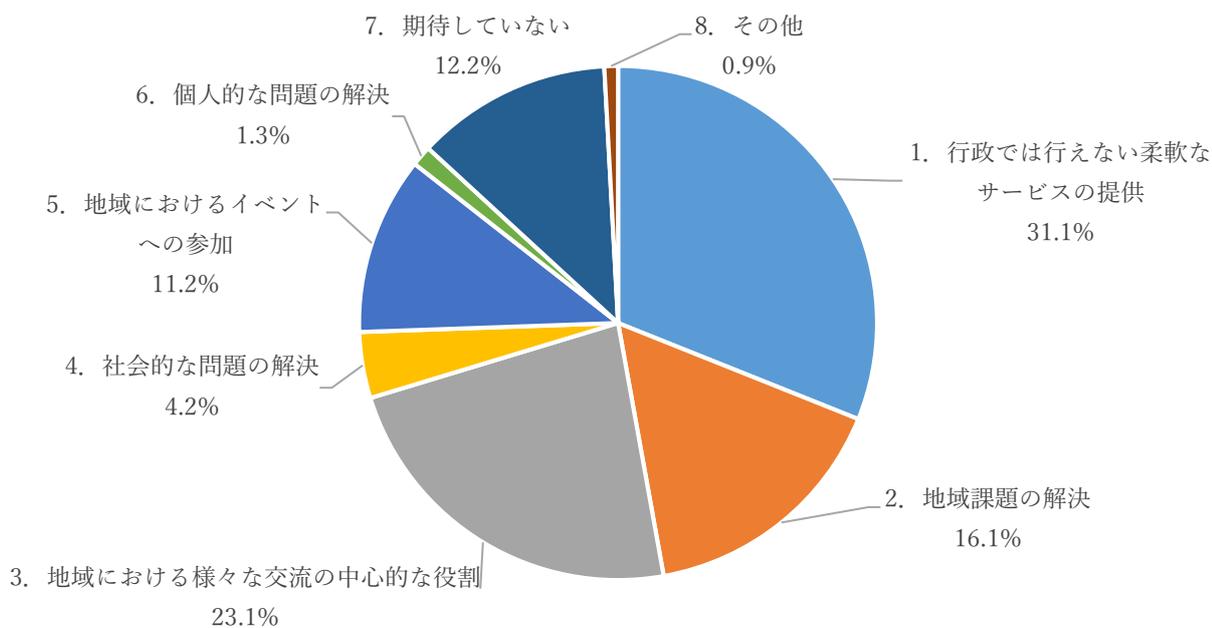


n=1,020

内容	回答数
1. 広報あびこ	799
2. 市HP	176
3. 自治会回覧板・掲示板	578
4. 近隣センターだより	260
5. ミニコミ誌のような地域の情報誌	147
6. 公共施設に置いてあるチラシ	200
7. SNS (Facebook、Twitter、Instagram など)	82
8. ^{クチ} 口コミ (友人、知り合いなど)	248

問6 あなたは、ボランティア・市民活動のどのようなところに期待していますか。
(一つを選択してください。)

- ・一番多い回答は、「行政では行えない柔軟なサービスの提供」(31.1%)、次いで、「地域における様々な交流の中心的な役割」(23.1%)となった。
- ・一方、「個人的な問題の解決」(1.3%)、「社会的な問題の解決」(4.2%)と“問題の解決”に期待する意見は比較的少なかった。



n=939

内容	回答数
1. 行政では行えない柔軟なサービスの提供	292
2. 地域課題の解決	151
3. 地域における様々な交流の中心的な役割	217
4. 社会的な問題の解決	39
5. 地域におけるイベントへの参加	105
6. 個人的な問題の解決	12
7. 期待していない	115
8. その他	8

その他 主な意見：

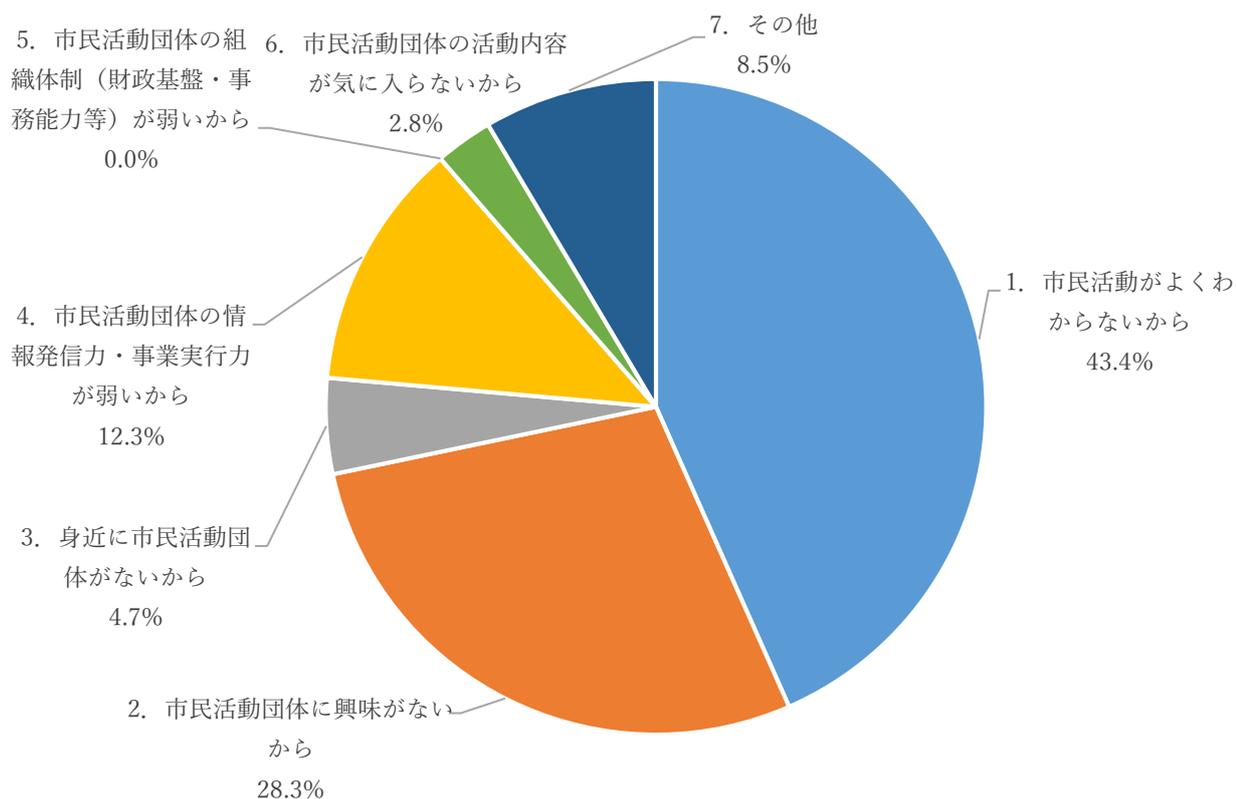
- ・行政の負担軽減
- ・日々の暮らしの支え
- ・災害救助活動
- ・参加する人が生きがい、やりがいを感じること など

問6-1 問6で「期待していない」を選択した方に伺います。

期待していない理由は何ですか。

(一つを選択してください。)

- ・一番多い回答は、「市民活動がよくわからないから」(43.4%)、次いで、「市民活動団体に興味がないから」(28.3%)となった。
- ・団体の活動に対する評価を理由にする意見は比較的少なかった。



内容	回答数
1. 市民活動がよくわからないから	46
2. 市民活動団体に興味がないから	30
3. 身近に市民活動団体がいないから	5
4. 市民活動団体の情報発信力・事業実行力が弱いから	13
5. 市民活動団体の組織体制(財政基盤・事務能力等)が弱いから	0
6. 市民活動団体の活動内容が気に入らないから	3
7. その他	9

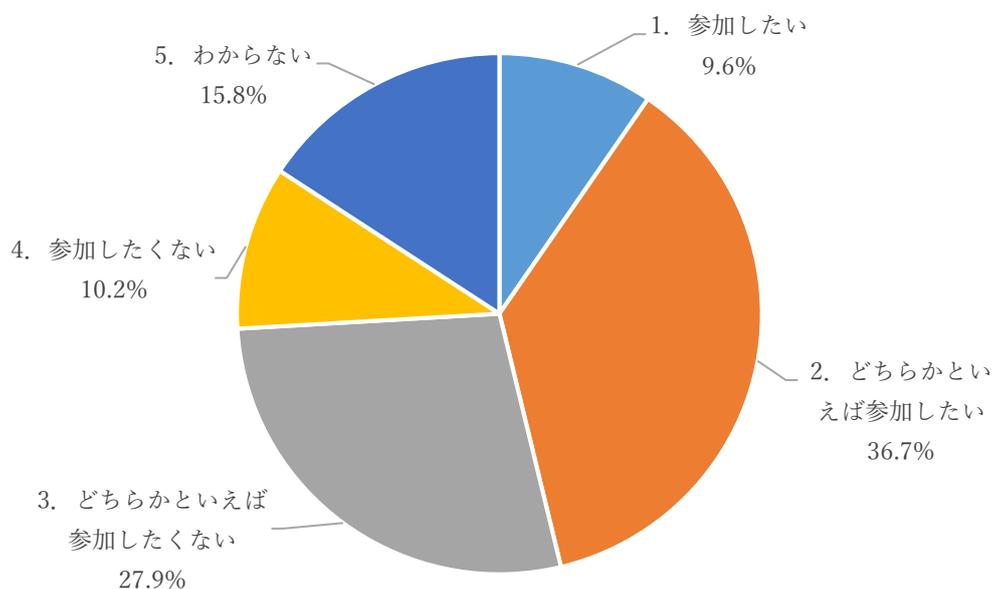
n=106

その他 主な意見：

- ・行政が行なうべき事が多い (2件)
- ・働いているので時間が足りない。年齢的にも体力的にも無理です。
- ・何ら得るものがない

問7 あなたは、ボランティア・市民活動に参加したいと思いますか。
 (一つを選択してください。)

- ・一番多い回答は、「どちらかといえば参加したい」(36.7%)、次いで、「どちらかといえば参加したくない」(27.9%)となった。
- ・「参加したい」(9.6%)、「どちらかといえば参加したい」(36.7%)と46.3%の方が参加したいと回答している一方、「参加したくない」(10.2%)、「どちらかといえば参加したくない」(27.9%)と38.1%の方は参加したくないと回答しており、参加したいと思っている方のほうが多い結果となった。

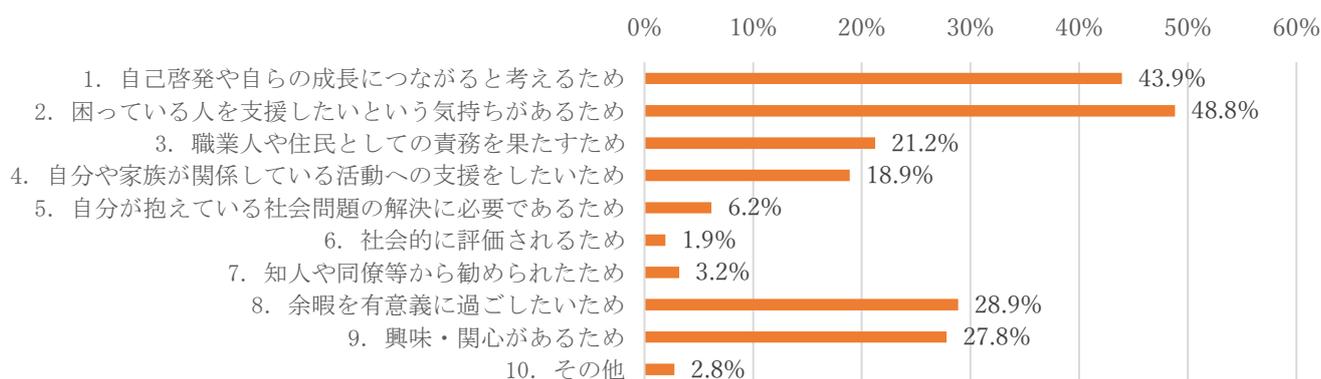


n=1,034

内容	回答数
1. 参加したい	99
2. どちらかといえば参加したい	379
3. どちらかといえば参加したくない	288
4. 参加したくない	105
5. わからない	163

問7-1 問7で「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した方に伺います。
 参加したいと思われた理由についてお選びください。
 (該当するものを最大3つまで選択してください。)

- ・一番多い回答は、「困っている人を支援したいという気持ちがあるため」(48.8%)、次いで、「自己啓発や自らの成長につながると思えるため」(43.9%)となった。
- ・一方、「社会的に評価されるため」(1.9%)、「知人や同僚等から勧められたため」(3.2%)など回答率が低くなった。



n=472

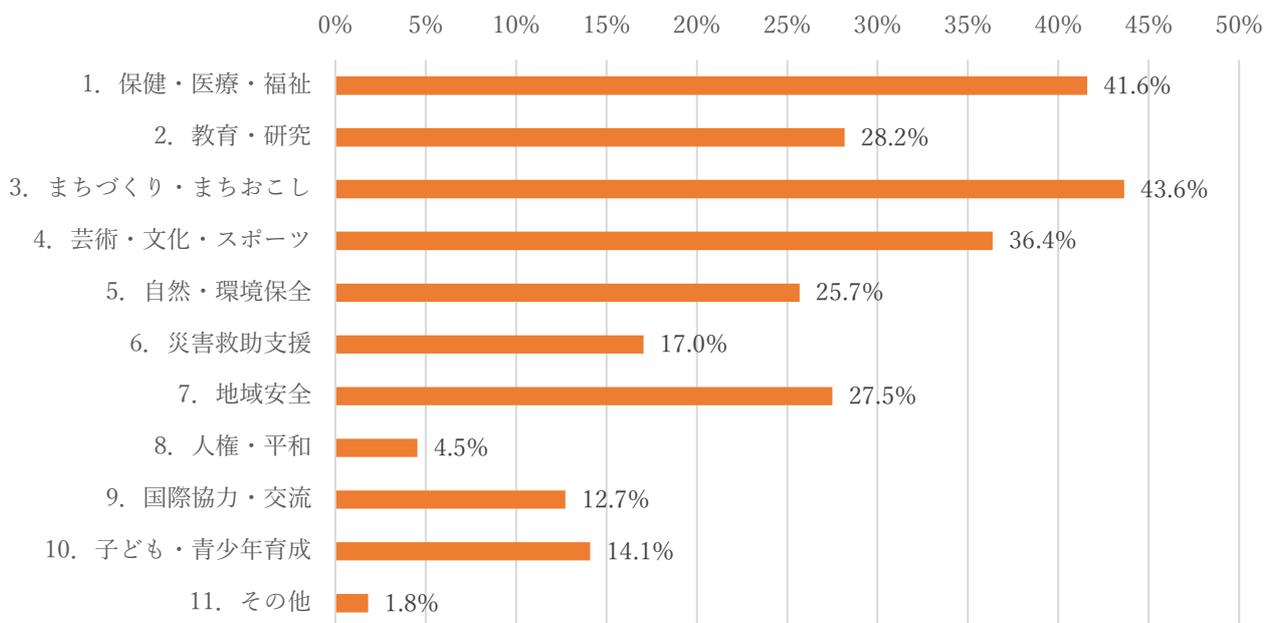
内容	回答数
1. 自己啓発や自らの成長につながると思えるため	207
2. 困っている人を支援したいという気持ちがあるため	230
3. 職業人や住民としての責務を果たすため	100
4. 自分や家族が関係している活動への支援をしたいため	89
5. 自分が抱えている社会問題の解決に必要であるため	29
6. 社会的に評価されるため	9
7. 知人や同僚等から勧められたため	15
8. 余暇を有意義に過ごしたいため	136
9. 興味・関心があるため	131
10. その他	13

その他 主な意見：

- ・人との交流 (3件)
- ・共生社会への貢献 (2件)
- ・私でも役立つ事なら参加したい (2件)
- ・してみたいと思う気持ちもあるが1人ではちょっとと思う

問7-2 問7で「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した方に伺います。
 どのような分野の活動に参加したいと思いますか。
 (該当するものをすべて選択してください。)

- ・一番多い回答は、「まちづくり・まちおこし」(43.6%)、次いで、「保健・医療・福祉」(41.6%)となった。
- ・「人権・平和」(4.5%)は、他の分野と比べると低い結果となった。



内容	回答数
1. 保健・医療・福祉	183
2. 教育・研究	124
3. まちづくり・まちおこし	192
4. 芸術・文化・スポーツ	160
5. 自然・環境保全	113
6. 災害救助支援	75
7. 地域安全	121
8. 人権・平和	20
9. 国際協力・交流	56
10. 子ども・青少年育成	62
11. その他	8

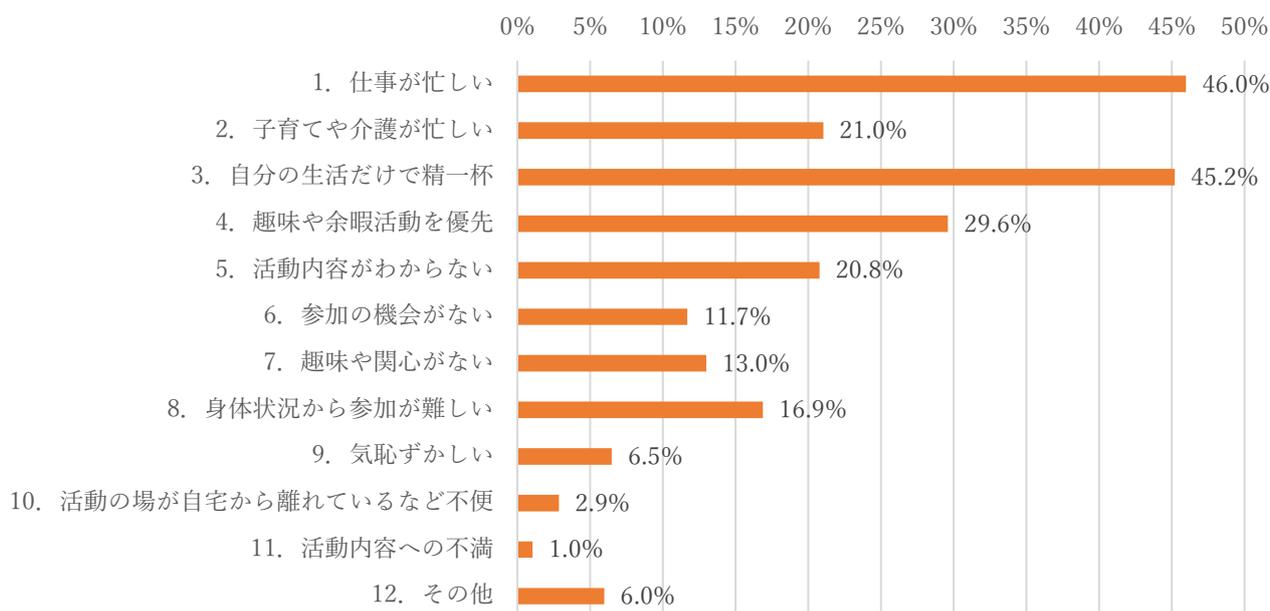
n=440

その他 主な意見：

- ・老人にかかわるボランティア
- ・消費者センターの活動の援助
- ・コミュニケーション力が高まるワークショップ各種 など

問8 問7で「参加したくない」、「どちらかといえば参加したくない」と回答した方に伺います。参加したくないと思われた理由についてお選びください。
(該当するものを最大3つまで選択してください。)

- ・一番多い回答は、「仕事が忙しい」(46.0%)、次いで、「自分の生活だけで精一杯」(45.2%)となった。
- ・一方、「活動内容への不満」(1.0%)、「活動の場が自宅から離れているなど不便」(2.9%)は低い結果となった。
- ・仕事、子育て、介護、趣味等、生活の忙しさから活動に参加したくないという意見が多い。



内容	回答数
1. 仕事が忙しい	177
2. 子育てや介護が忙しい	81
3. 自分の生活だけで精一杯	174
4. 趣味や余暇活動を優先	114
5. 活動内容がわからない	80
6. 参加の機会がない	45
7. 趣味や関心がない	50
8. 身体状況から参加が難しい	65
9. 気恥ずかしい	25
10. 活動の場が自宅から離れているなど不便	11
11. 活動内容への不満	4
12. その他	23

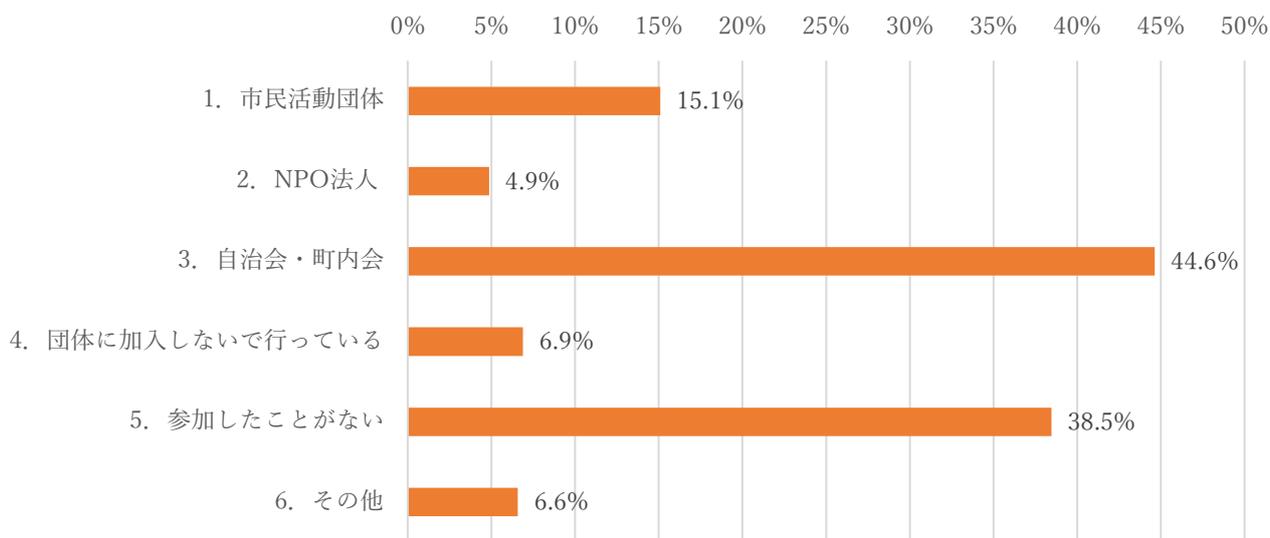
n=385

その他 主な意見：

- ・新しいコミュニティに入っ
ていきづらい (3件)
- ・無償で働くのが不満 (2件)
- ・自己の力不足

問9 今までどのような形態でボランティア・市民活動に参加したことがありますか。
(該当するものをすべて選択してください。)

- ・一番多い回答は、「自治会・町内会」(44.6%)、次いで、「今までボランティア・市民活動に参加したことがない」(38.5%)となった。
- ・一方、「NPO法人」(4.9%)が一番低い結果となったが、市内のNPO法人数が選択肢の中で一番少ないことを考慮すると妥当な結果といえる。



内容	回答数
1. 市民活動団体	149
2. NPO法人	48
3. 自治会・町内会	441
4. 団体に加入しないでやっている	68
5. 今までにボランティア・市民活動に参加したことがない	380
6. その他	65

n=988

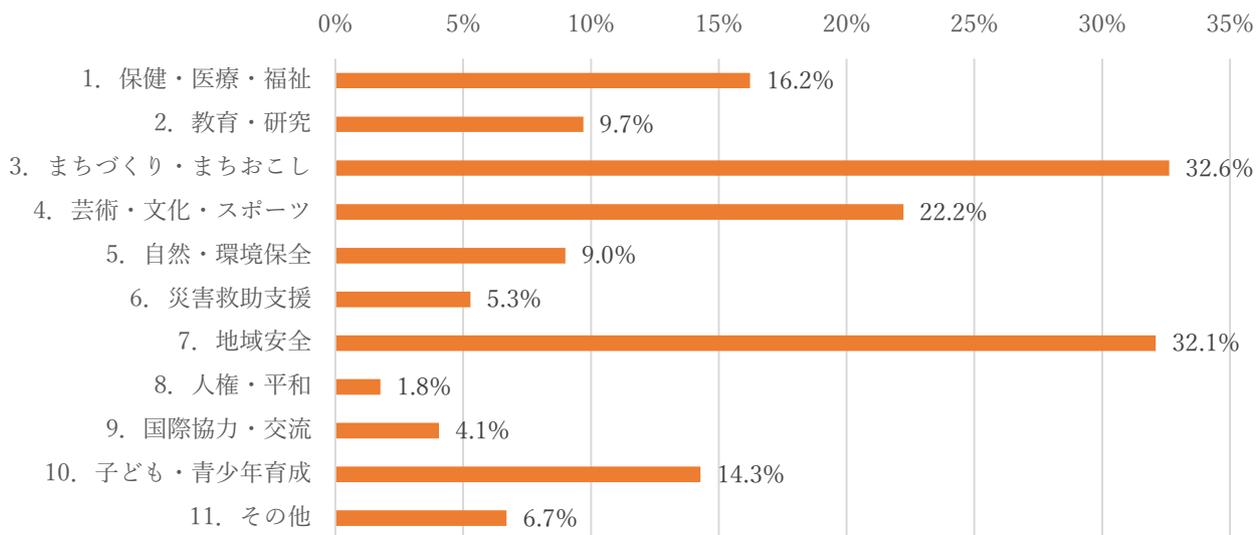
その他 主な意見：

- ・学校での活動 (9件)
- ・PTA (7件)
- ・子供会 (4件)
- ・職場でのボランティア活動 (4件)
- ・サークル活動 (3件)
- ・災害ボランティア (2件)
- ・手賀沼マラソンなどイベントボランティア (2件)
- ・社会福祉協議会 (2件)
- ・図書ボランティア (2件)
- ・国際協力、NGO

問10 今までボランティア・市民活動に参加したことがある方に伺います。参加したことがある活動はどのような分野ですか。

(該当するものをすべて選択してください。)

- ・一番多い回答は、「まちづくり・まちおこし」(32.6%)、次いで、「地域安全」(32.1%)となっている。
- ・一方、「人権・平和」(1.8%)、「国際協力・交流」(4.1%)は他の回答と比べると低い回答率になっている。



内容	回答数
1. 保健・医療・福祉	92
2. 教育・研究	55
3. まちづくり・まちおこし	185
4. 芸術・文化・スポーツ	126
5. 自然・環境保全	51
6. 災害救助支援	30
7. 地域安全	182
8. 人権・平和	10
9. 国際協力・交流	23
10. 子ども・青少年育成	81
11. その他	38

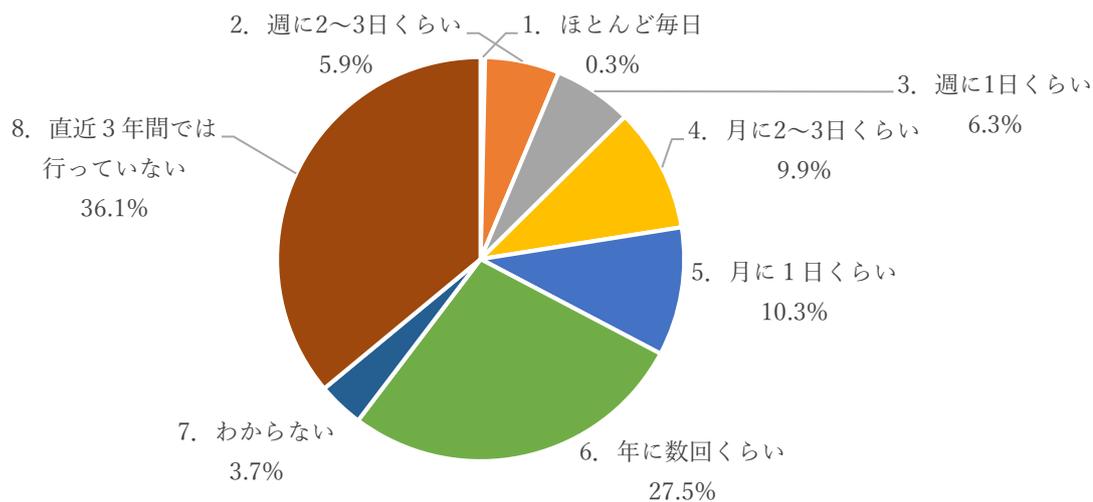
n=567

その他 主な意見：

- ・マンション内のショップ運営に関する事、マンション内の自治会からの配布物に関する事
- ・消費者活動
- ・覚えていない など

問 1 1 今までボランティア・市民活動に参加したことがある方に伺います。直近3年間で、どのくらいの頻度で活動を行っていましたか。
(一つを選択してください。)

- ・一番多い回答は、「直近3年間では行っていない」(36.1%)となった。
- ・活動を行っている中で一番多い回答は、「年に数回くらい」(27.5%)。活動頻度が高くなるほど回答は少なくなっている。



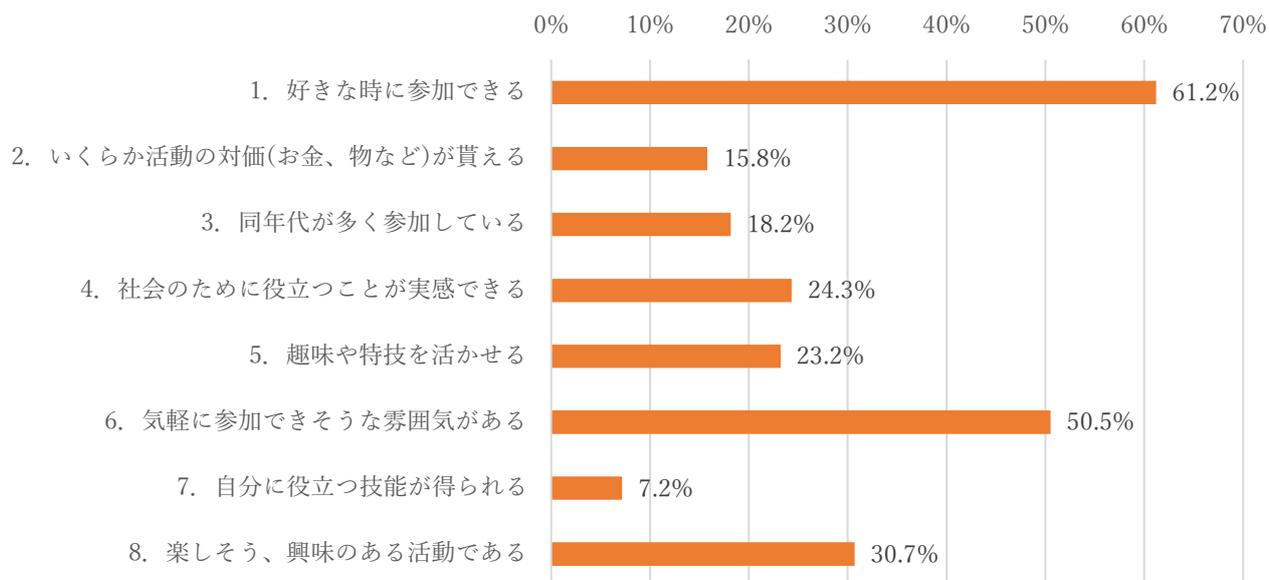
内容	回答数
1. ほとんど毎日	2
2. 週に2~3日くらい	34
3. 週に1日くらい	36
4. 月に2~3日くらい	57
5. 月に1日くらい	59
6. 年に数回くらい	158
7. わからない	21
8. 直近3年間では行っていない	207

n=574

問12 ボランティア・市民活動に参加する際、どのような活動であれば参加しやすいと思いますか。

(該当するものを最大3つまで選択してください。)

- ・一番多い回答は、「好きな時に参加できる」(61.2%)、次いで、「気軽に参加できそうな雰囲気がある」(50.5%)となった。
- ・一方、「自分に役立つ技能が得られる」(7.2%)、「いくらか活動の対価が貰える」(15.8%)が他の回答と比較すると低い回答率となった。



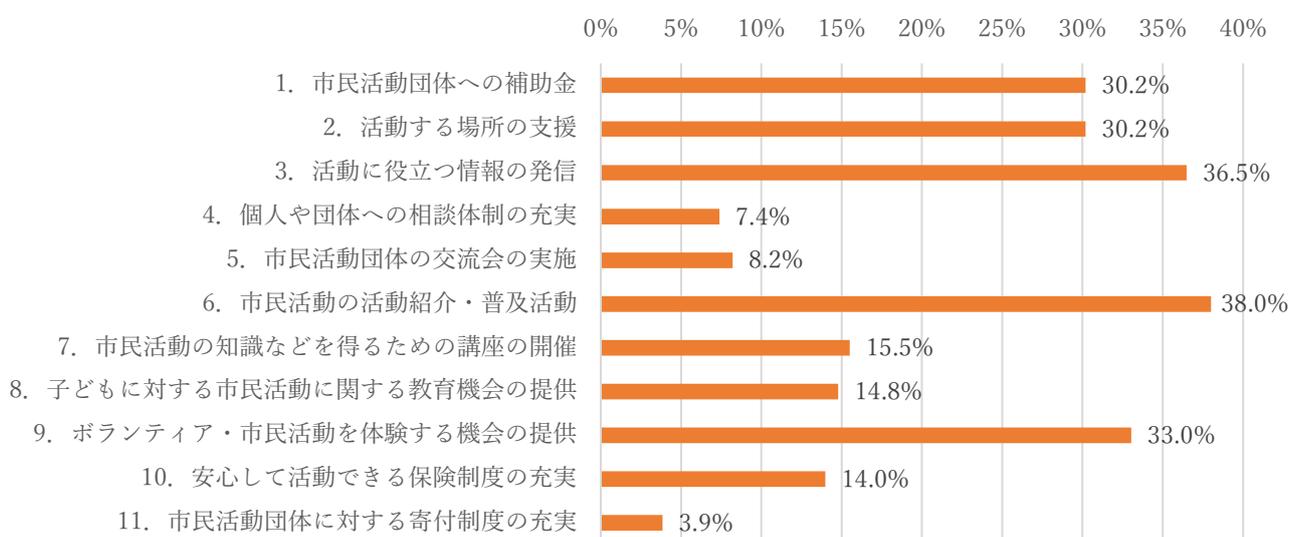
内容	回答数
1. 好きな時に参加できる	596
2. いくらか活動の対価(お金、物など)が貰える	154
3. 同年代が多く参加している	177
4. 社会のために役立つことが実感できる	237
5. 趣味や特技を活かせる	226
6. 気軽に参加できそうな雰囲気がある	492
7. 自分に役立つ技能が得られる	70
8. 楽しそう、興味のある活動である	299

n=974

問13 ボランティア・市民活動を盛んにするには次のような方策が考えられます。この中で特にどのような方策が必要だと思いますか。

(該当するものを最大3つまで選択してください。)

- ・一番多い回答は、「市民活動の活動紹介・普及活動」(38.0%)、次いで、「活動に役立つ情報の積極的な発信」(36.5%)となった。
- ・一方、「市民活動団体に対する寄付制度の充実」(3.9%)、「個人や団体への相談体制の充実」(7.4%)、「市民活動団体の交流会の実施」(8.2%)が他の回答と比較すると回答率が低くなった。
- ・補助金、場の支援、情報発信、普及活動、体験機会の提供が3割を超える回答率になった。

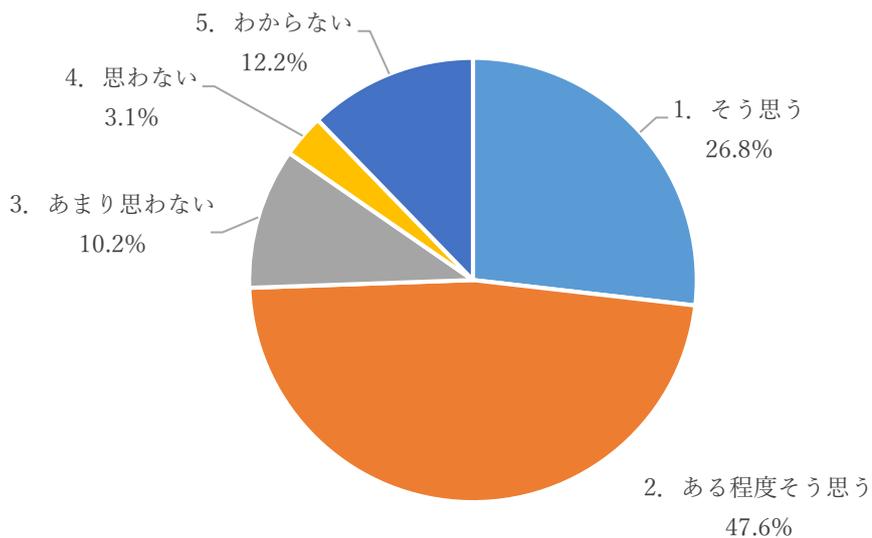


内容	回答数
1. 市民活動団体への補助金	298
2. 活動する場所の支援	298
3. 活動に役立つ情報の積極的な発信	360
4. 個人や団体への相談体制の充実	73
5. 市民活動団体の交流会の実施	81
6. 市民活動の活動紹介・普及活動	375
7. 市民活動の技術や知識などを得るための講座・研修会の開催	153
8. 子どもや若者に対する市民活動に関する教育機会の提供	146
9. ボランティア・市民活動を体験する機会の提供	326
10. 安心して活動できる保険制度の充実	138
11. 市民活動団体に対する寄付制度の充実	38

n=987

問14 地域コミュニティの活性化を図るために、「地域会議」の実施を推進しています。
 地域会議のような取組は必要だと思いますか。
 (一つを選択してください。)

- ・一番多い回答は、「ある程度そう思う」(47.6%)、次いで、「そう思う」(26.8%)となった。
- ・取り組みが必要だと思っている人が74.4%、必要でないと思っている人が13.3%となっており、多くの人が必要だと思っていることが分かる。



内容	回答数
1. そう思う	275
2. ある程度そう思う	488
3. あまり思わない	105
4. 思わない	32
5. わからない	125

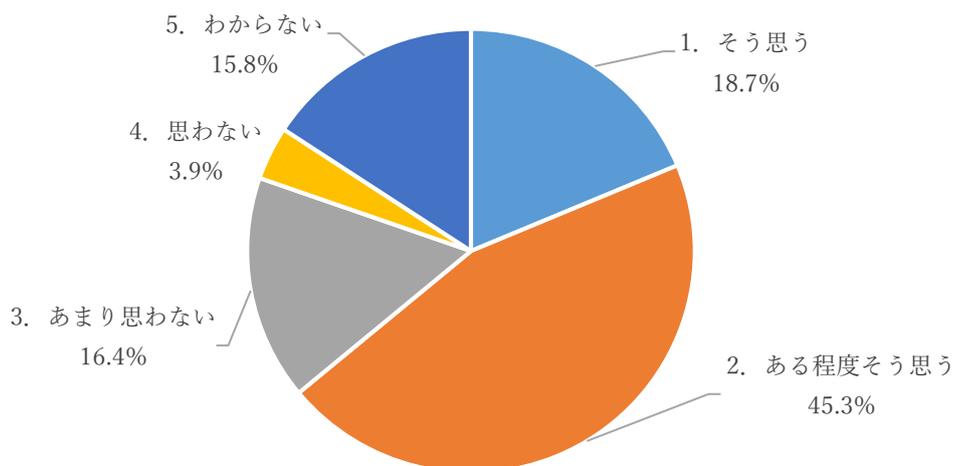
n=1,025

※地域会議とは・・・

この調査では、地域で活動する市民活動団体や自治会などが活動分野を越えて集まり、地域の課題に関する情報共有や意見交換をする「話し合いの“場”」を言います。

問15 地域会議が自分の住む地域にあればより住みやすい地域となると思いますか。
 (一つを選択してください。)

- 一番多い回答は、「ある程度そう思う」(45.3%)、次いで、「そう思う」(18.7%)となった。
- 住みやすい地域となっている方が64.0%、そう思っていない人が20.3%となっており、多くの人が住みやすい地域になると思っていることが分かる。

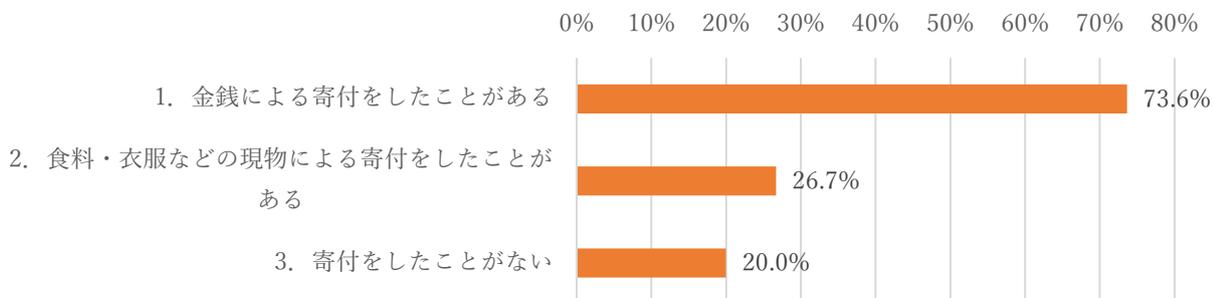


内容	回答数
1. そう思う	192
2. ある程度そう思う	465
3. あまり思わない	168
4. 思わない	40
5. わからない	162

n=1,027

問16 あなたは、今までに自らの意思で寄付をしたことがありますか。
 (該当するものをすべて選択してください。)

- ・一番多い回答は、「金銭による寄付をしたことがある」(73.6%)となった。
- ・「寄付をしたことがない」と回答した方も20.0%と、一定数いることが分かる。



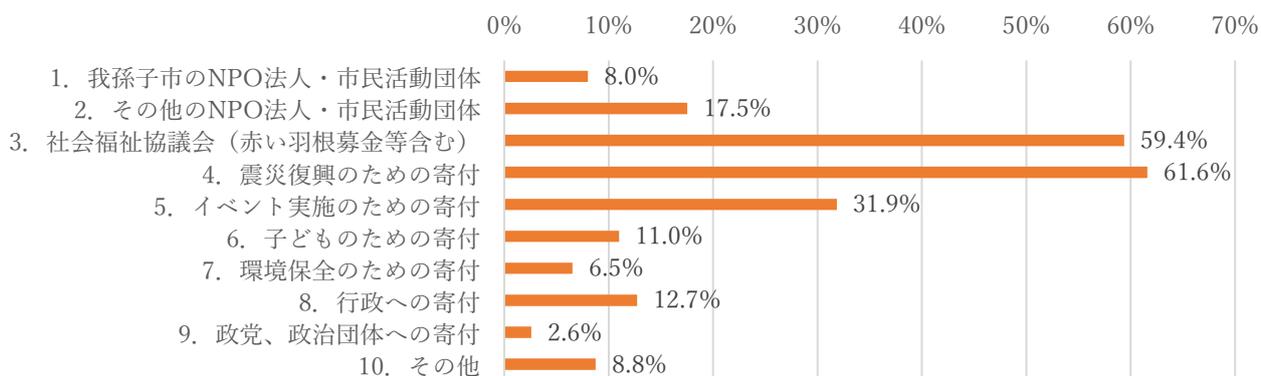
n=1,016

内容	回答数
1. 金銭による寄付をしたことがある	748
2. 食料・衣服などの現物による寄付をしたことがある	271
3. 寄付をしたことがない	203

問16-1 寄付を行ったことがある方に伺います。あなたが寄付をした団体等はどこですか。

(該当するものをすべて選択してください。)

- ・一番多い回答は、「震災復興のための寄付」(61.6%)、次いで、「社会福祉協議会(赤い羽根募金・歳末助け合い募金等含む)」(59.4%)となった。
- ・一方、「政党、政治団体への寄付」(2.6%)、「環境保全のための寄付」(6.5%)などは他の回答と比べると回答率は低くなった。
- ・また、「その他」の中でも日本ユニセフ協会等の“財団法人”や“学校”なども寄付先として、多く回答があった。



内容	回答数
1. 我孫子市のNPO法人・市民活動団体	65
2. その他のNPO法人・市民活動団体	142
3. 社会福祉協議会(赤い羽根募金・歳末助け合い募金等含む)	481
4. 震災復興のための寄付	499
5. イベント実施のための寄付(花火大会など)	258
6. 子どものための寄付(子ども食堂、貧困対策など)	89
7. 環境保全のための寄付	53
8. 行政(国、県、市町村)への寄付(ふるさと納税など)	103
9. 政党、政治団体への寄付	21
10. その他	71

n=810

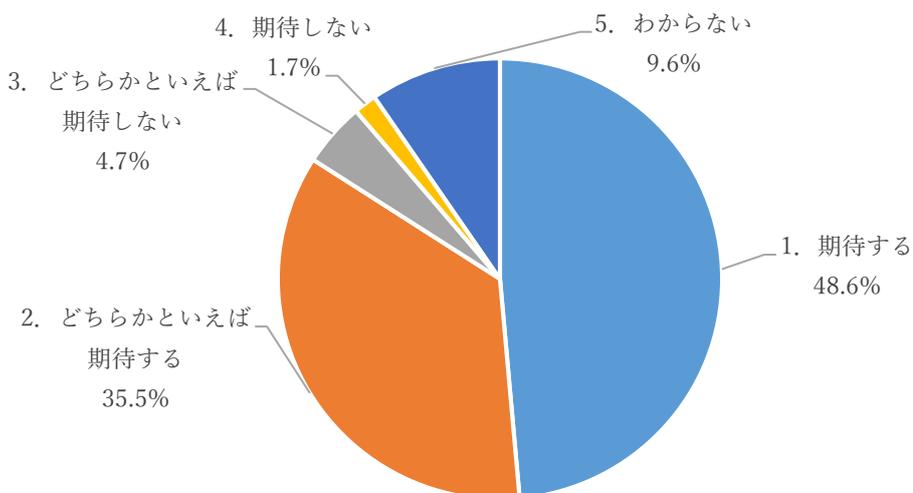
その他 主な意見：

- ・日本ユニセフ協会等の財団法人(22件)
- ・学校(部活動含む)(16件)
- ・NGO(7件)
- ・盲導犬(3件)
- ・企業(3件)
- ・海外への寄付(3件)
- ・福祉施設(3件)
- ・動物愛護(3件)
- ・日本赤十字社(2件)
- ・PTA(2件)
- ・覚えていない
- ・生協
- ・神社、仏閣
- ・個人ボランティア など

問17 現在、企業の社会貢献活動が全国的に広がっています。そのような企業の社会貢献活動についてどのようにお考えですか。

(一つを選択してください。)

- ・一番多い回答は、「期待する」(48.6%)、次いで、「どちらかといえば期待する」(35.5%)となった。
- ・「期待する」、「どちらかといえば期待する」と回答した方が84.1%、「期待しない」、「どちらかといえば期待しない」と回答した方が6.4%となっており、多くの方が企業の社会貢献に期待していることが分かる。

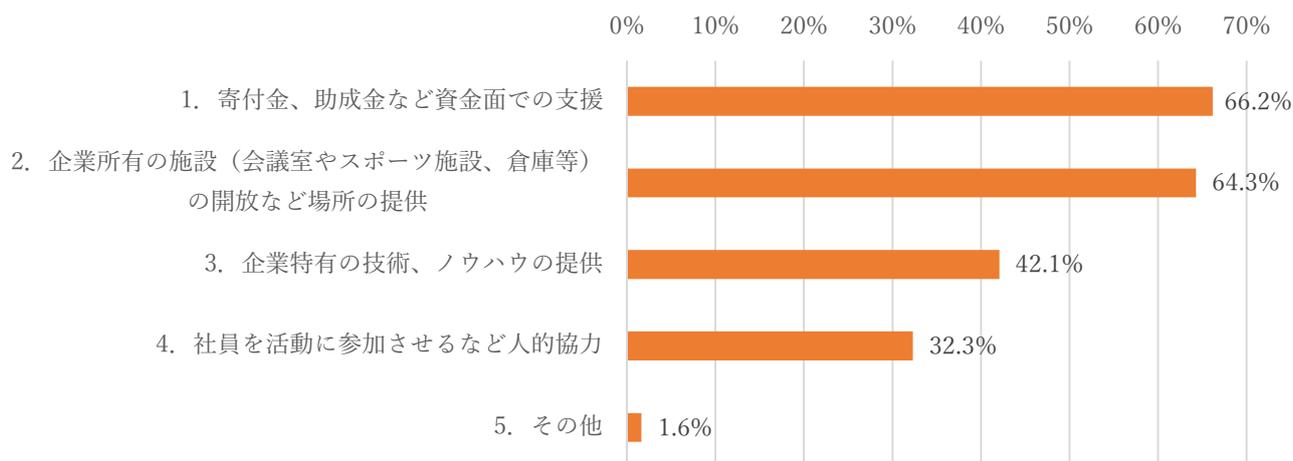


内容	回答数
1. 期待する	498
2. どちらかといえば期待する	364
3. どちらかといえば期待しない	48
4. 期待しない	17
5. わからない	98

n=1,025

問17-1 企業の社会貢献活動について「期待する」、「どちらかといえば期待する」と回答した方に伺います。どのようなことに期待していますか。
(該当するものをすべて選択してください。)

- ・一番多い回答は、「寄付金、助成金など資金面での支援」(66.2%)、次いで、「企業所有の施設の開放など場所の提供」(64.3%)となった。
- ・どの項目も回答率が30%を超えており、多くのことが望まれていることが分かる。



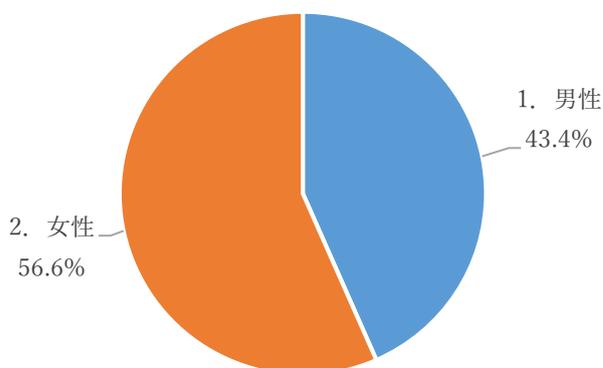
内容	回答数
1. 寄付金、助成金など資金面での支援	563
2. 企業所有の施設(会議室やスポーツ施設、倉庫等)の開放など場所の提供	547
3. 企業特有の技術、ノウハウの提供	358
4. 社員を活動に参加させるなど人的協力	275
5. その他	14

n=851

その他 主な意見：

- ・企業側の地域還元意識の改革。それを牽引できる減税政策の拡充。
- ・消費者センターの消費者教育のための講演会への参加
- ・社会的広報力・拡散力
- ・業界団体を通じたPR など

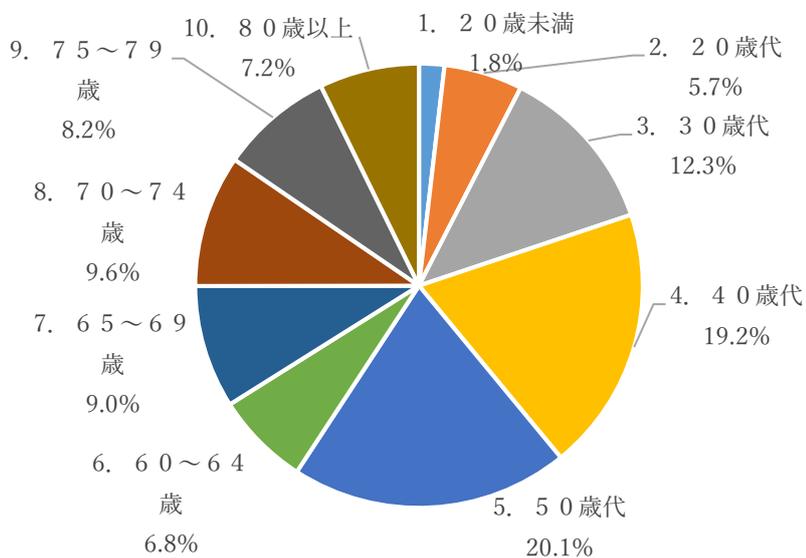
問18 あなたの性を選択してください。
(一つを選択してください。)



n=1,034

内容	回答数
1. 男性	449
2. 女性	585

問19 あなたの年齢を選択してください。
(一つを選択してください。)

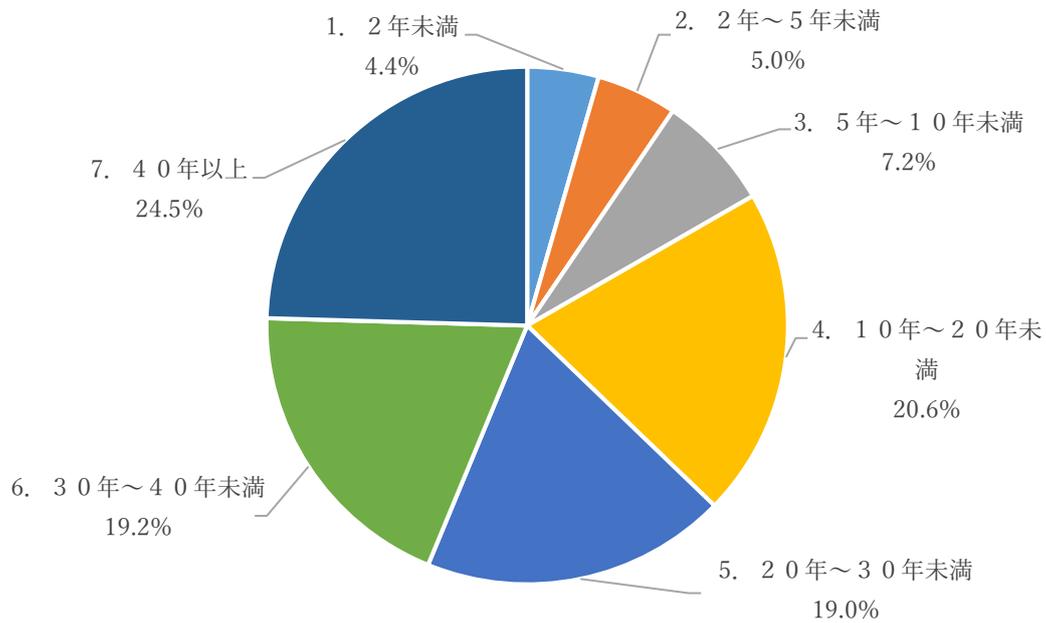


n=1,039

内容	回答数
1. 20歳未満	19
2. 20歳代	59
3. 30歳代	128
4. 40歳代	200
5. 50歳代	209
6. 60～64歳	71
7. 65～69歳	93
8. 70～74歳	100
9. 75～79歳	85
10. 80歳以上	75

問20 あなたの我孫子市での居住年数を選択してください。

(一つを選択してください。)



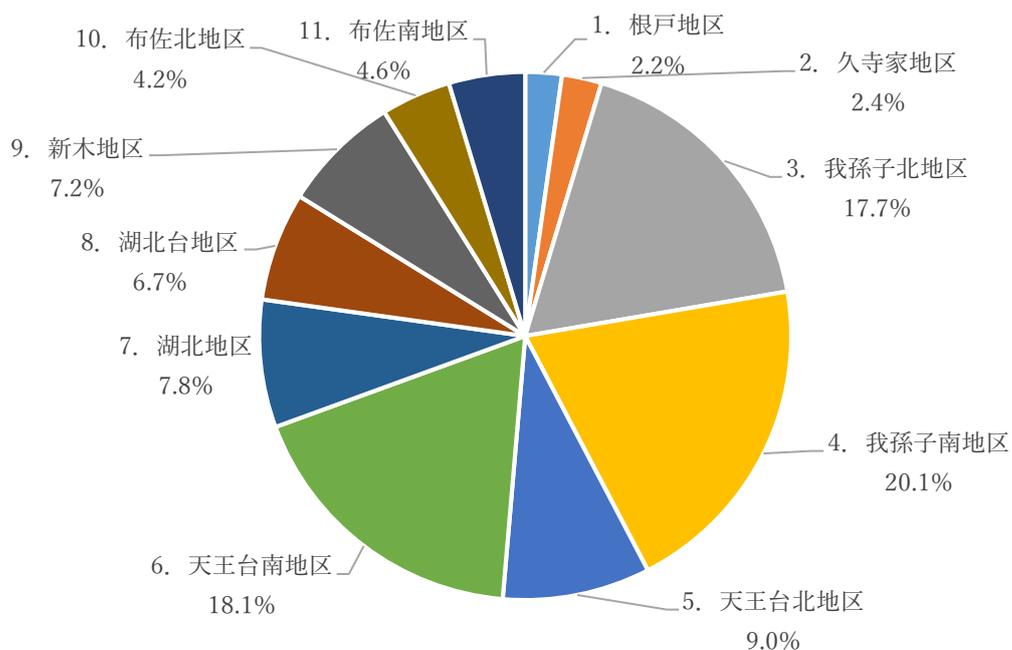
内容	回答数
1. 2年未満	46
2. 2年～5年未満	52
3. 5年～10年未満	75
4. 10年～20年未満	214
5. 20年～30年未満	197
6. 30年～40年未満	200
7. 40年以上	255

n=1,039

問 2 1 あなたが住んでいる地区を選択してください。

(一つを選択してください。)

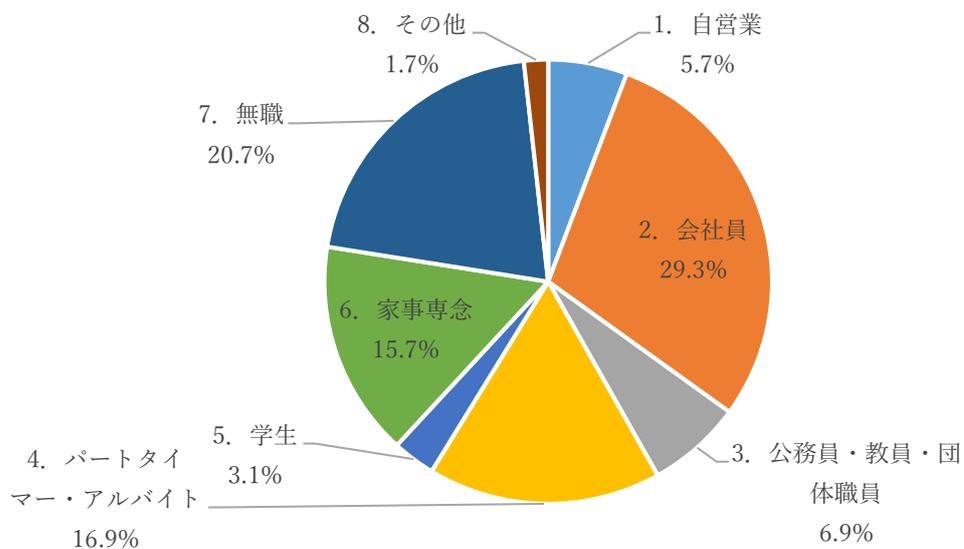
- ・平成 31 年 4 月 1 日現在の我孫子市全域の総人口に占める地区別人口の割合（人口比重）と比較すると、1～2%程度の誤差であることから、市全域の意見を集められていると言える。



n=1,036

内容	回答数	割合	人口比重
1. 根戸地区	23	2.2%	3.6%
2. 久寺家地区	25	2.4%	1.8%
3. 我孫子北地区	183	17.7%	17.9%
4. 我孫子南地区	208	20.1%	17.6%
5. 天王台北地区	93	9.0%	9.5%
6. 天王台南地区	187	18.1%	17.2%
7. 湖北地区	81	7.8%	7.9%
8. 湖北台地区	69	6.7%	9.0%
9. 新木地区	75	7.2%	7.6%
10. 布佐北地区	44	4.2%	4.4%
11. 布佐南地区	48	4.6%	3.5%

問22 あなたの職業は、次のうちどれに当たりますか。
 (一つを選択してください。)



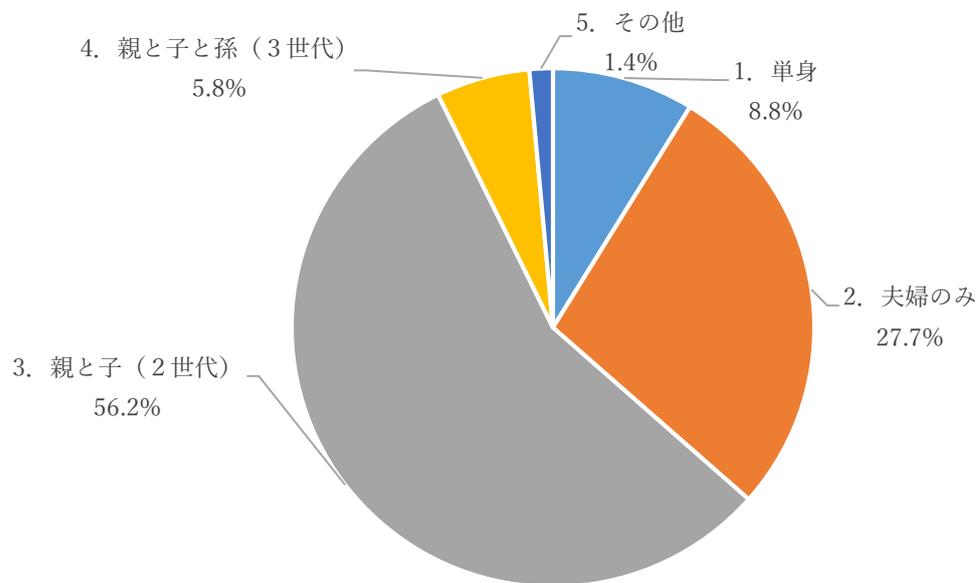
n=1,032

内容	回答数
1. 自営業(農業・商店・工場・建設業など。家族従業者を含む)	59
2. 会社員	302
3. 公務員・教員・団体職員	71
4. パートタイマー・アルバイト	174
5. 学生	32
6. 家事専念	162
7. 無職	214
8. その他	18

その他 主な意見：

- ・派遣社員
- ・契約社員 など

問23 あなたの世帯構成は、次のうちどれに当たりますか。
 (一つを選択してください。)

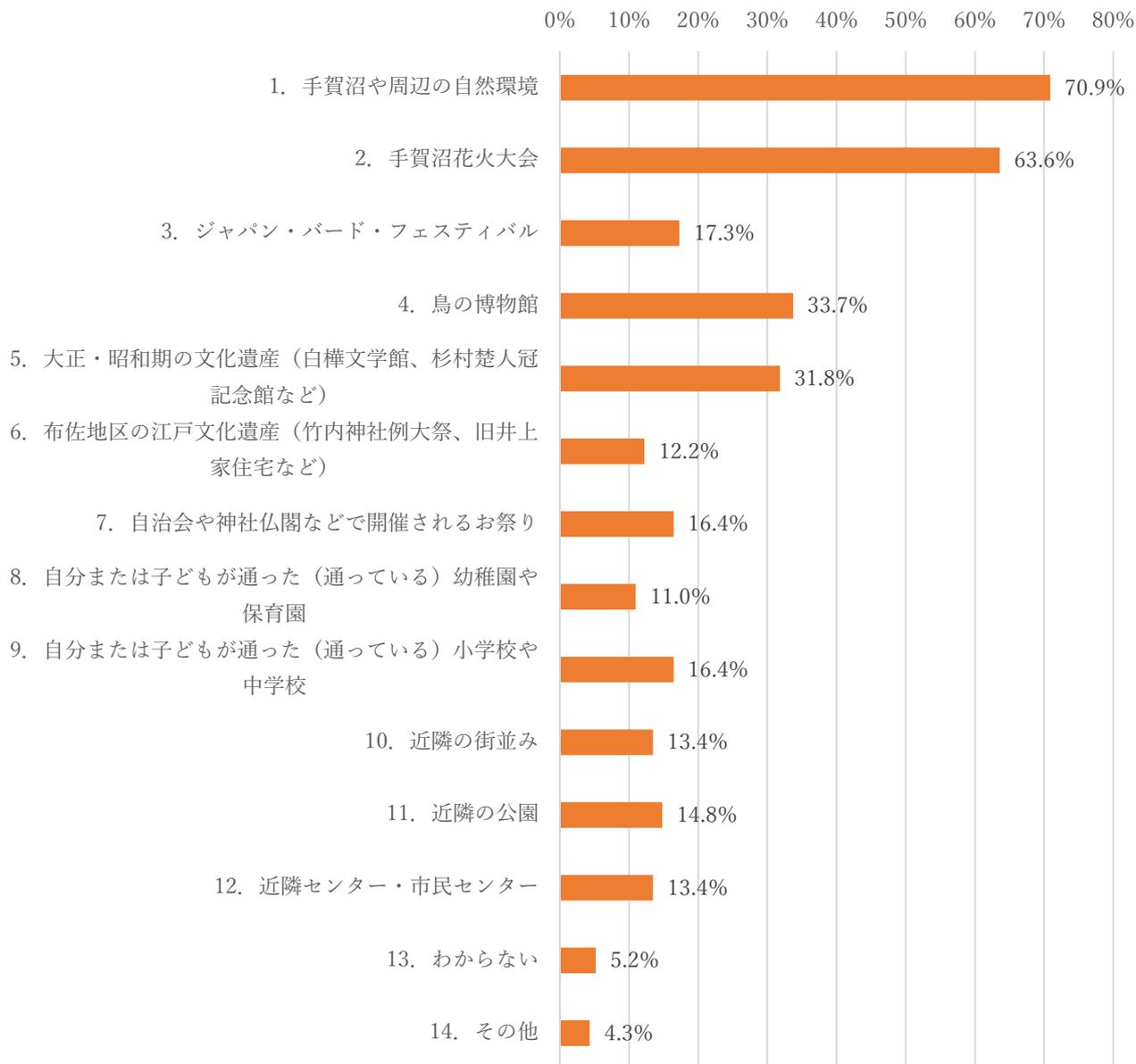


内容	回答数
1. 単身	91
2. 夫婦のみ	287
3. 親と子(2世代)	582
4. 親と子と孫(3世代)	60
5. その他	15

n=1,035

その他 主な意見：
 ・兄弟・姉妹（5件）
 ・同居人 など

問24 あなたが、我孫子市の中で誇れるものや愛着のあるものを選択してください。
 (該当するものをすべて選択してください。)



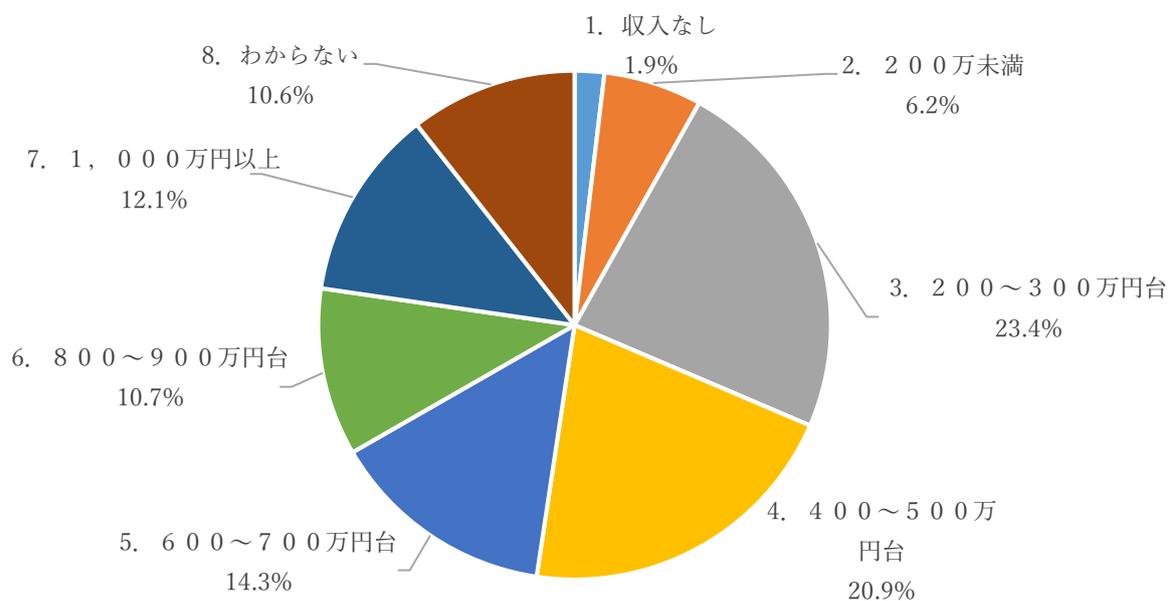
n=1,041

内容	回答数
1. 手賀沼や周辺の自然環境	738
2. 手賀沼花火大会	662
3. ジャパン・バード・フェスティバル	180
4. 鳥の博物館	351
5. 大正・昭和期の文化遺産(白樺文学館、杉村楚人冠記念館など)	331
6. 布佐地区の江戸文化遺産(竹内神社例大祭、旧井上家住宅など)	127
7. 自治会や神社仏閣などで開催されるお祭り	171
8. 自分または子どもが通った(通っている)幼稚園や保育園	114
9. 自分または子どもが通った(通っている)小学校や中学校	171
10. 近隣の街並み	140
11. 近隣の公園	154
12. 近隣センター・市民センター	140
13. わからない	54
14. その他	45

その他 主な意見：

- ・ ない (8件)
- ・ 手賀沼のうなぎちゃん (3件)
- ・ 交通の便 (3件)
- ・ アビスタ (2件)
- ・ 落ち着いた田舎感 (2件)
- ・ 地元の飲食店 (2件)
- ・ 手賀沼エコマラソン (2件)
- ・ 住みやすさ (2件)
- ・ 治安の良さ (2件)
- ・ 学習スペースが整っている
- ・ 近所のスーパーマーケット
- ・ 手賀沼公園内、平和の記念碑、平和の灯、被爆2世、クスノキ、青桐
- ・ 特別支援教育の体制
- ・ 市役所
- ・ 地域住民による定期清掃によるきれいな街づくり
- ・ 住宅地路地
- ・ 保健センター
- ・ 市民中心の子どものイベント
- ・ 岡発戸谷津
- ・ 地元の野菜
- ・ ガス展
- ・ NEC グリーンロケッツ
- ・ 中央学院高校野球部
- ・ 我孫子市出身有名人
- ・ 我孫子市立図書館

問25 あなたの世帯全体の年間収入（税込み額）は、およそどのくらいですか。
（一つを選択してください。）



内容	回答数
1. 収入なし	19
2. 200万未満	63
3. 200~300万円台	237
4. 400~500万円台	212
5. 600~700万円台	145
6. 800~900万円台	108
7. 1,000万円以上	123
8. わからない	107

n=1,014

Ⅲ クロス分析

・主要な項目についてクロス分析を行った。結果は次のとおり。

①

問1 あなたは、この調査の前までに市民活動という言葉を知っていましたか。
 問7 あなたは、ボランティア・市民活動に参加したいと思いませんか。

- ・問1の市民活動という言葉で「1. 内容まで知っている」とした回答者は、問7のボランティア・市民活動に「1. 参加したい」「2. どちらかといえば参加したい」という回答の合計比率が77.4%に達し、参加意欲が高い。
- ・問1の市民活動という言葉で「3. 知らない」とした回答者のうち、17.6%が問7でボランティア・市民活動に「4. 参加したくない」と回答し、22.2%が「5. わからない」と回答している。これらの回答率は、問1の他の回答者と比べ高くなっている。
- ・これらの結果から、市民活動への理解を深める等、理解促進を図ることで参加意欲が増加することが考えられる。

	総計	1. 参加したい	2. どちらかといえば参加したい	3. どちらかといえば参加したくない	4. 参加したくない	5. わからない	無回答
総計	1046	99	379	288	105	163	12
	100.0%	9.5%	36.2%	27.5%	10.0%	15.6%	1.1%
1. 内容まで知っている	142	34	76	20	5	3	4
	100.0%	23.9%	53.5%	14.1%	3.5%	2.1%	2.8%
2. 言葉だけは知っている	644	44	242	193	55	105	5
	100.0%	6.8%	37.6%	30.0%	8.5%	16.3%	0.8%
3. 知らない	239	14	59	68	42	53	3
	100.0%	5.9%	24.7%	28.5%	17.6%	22.2%	1.3%
無回答	21	7	2	7	3	2	-

②

問1 あなたは、この調査の前までに市民活動という言葉を知っていましたか。

問9 今までどのような形態でボランティア・市民活動に参加したことがありますか。

- ・「2. NPO法人」を除くと問9の回答者は、問1で「2. 言葉だけは知っている」の回答率が最も高くなっている。
- ・問9の「2. NPO法人」や「1. 市民活動団体」の活動に参加経験がある回答者では、40%前後が問1で「1. 内容まで知っている」とし、問9の他の選択肢の回答者と比べると回答率がとても高くなっている。問1の「3. 知らない」という回答率は、特に「1. 市民活動団体」で4%と低くなっている。
- ・問9で「5. 今までにボランティア・市民活動に参加したことがない」とした回答者のうち、33.4%が問1で「3. 知らない」と回答し、問9の他の選択肢の回答者と比べると回答率が高くなっている。一方で、「1. 内容まで知っている」の回答率は3.2%と低くとどまっている。
- ・これらの結果から、参加経験のない人の多くが市民活動という言葉を知っていることがわかる。その上で、参加することによって、市民活動という言葉を知らない人がその言葉を知ったり、言葉だけしか知らない人が内容を理解したりすることが促されているといえそうである。

上段が問1の回答数で下段がnに対する回答率

	1. 内容まで知っている	2. 言葉だけは知っている	3. 知らない	無回答
n=1046	142	644	239	21
	13.6%	61.6%	22.8%	2.0%
1. 市民活動団体	56	81	6	6
n=149	37.6%	54.4%	4.0%	4.0%
2. NPO 法人	20	18	6	4
n=48	41.7%	37.5%	12.5%	8.3%
3. 自治会・町内会	93	273	67	8
n=441	21.1%	61.9%	15.2%	1.8%
4. 団体に加入しないでやっている	16	40	9	3
n=68	23.5%	58.8%	13.2%	4.4%
5. 今までにボランティア・市民活動に参加したことがない	12	237	127	4
n=380	3.2%	62.4%	33.4%	1.1%
6. その他	11	37	16	1
n=65	16.9%	56.9%	24.6%	1.5%

③

問1 あなたは、この調査の前までに市民活動という言葉を知っていましたか。
 問19 あなたの年齢を選択してください。

- ・問1で市民活動という言葉「1. 内容まで知っている」とした回答者の比率は、60歳代以上で18.3%に達し、80歳以上では25%を超えている。一方で、20歳代や30歳代の回答者では、「3. 知らない」という回答率が他の年齢層と比べ高くなっており、30歳代では40.6%となっている。
- ・これらの結果から、30歳代以下の年齢層に地域に興味を持ってもらうなど、市民活動についての普及啓発の必要性があると考えられる。

	総計	1. 内容まで 知っている	2. 言葉だけ は知っている	3. 知らない	無回答
総計	1046	142	644	239	21
	100.0%	13.6%	61.6%	22.8%	2.0%
1. 20歳未満	19	3	10	6	0
	100.0%	15.8%	52.6%	31.6%	0.0%
2. 20歳代	59	3	34	20	2
	100.0%	5.1%	57.6%	33.9%	3.4%
3. 30歳代	128	4	67	52	5
	100.0%	3.1%	52.3%	40.6%	3.9%
4. 40歳代	200	20	124	53	3
	100.0%	10.0%	62.0%	26.5%	1.5%
5. 50歳代	209	28	124	48	9
	100.0%	13.4%	59.3%	23.0%	4.3%
6. 60～64 歳	71	13	45	13	0
	100.0%	18.3%	63.4%	18.3%	0.0%
7. 65～69 歳	93	14	67	12	0
	100.0%	15.1%	72.0%	12.9%	0.0%
8. 70～74 歳	100	18	68	13	1
	100.0%	18.0%	68.0%	13.0%	1.0%
9. 75～79 歳	85	19	57	9	0
	100.0%	22.4%	67.1%	10.6%	0.0%
10. 80歳以 上	75	19	43	12	1
	100.0%	25.3%	57.3%	16.0%	1.3%
無回答	7	1	5	1	-

④

問2 あなたは、ボランティア・市民活動に関心はありますか。

問7 あなたは、ボランティア・市民活動に参加したいと思いますか。

- ・問2で「1. とても関心がある」とした回答者の66.3%が問7において「1. 参加したい」と回答している。
- ・問2で「2. ある程度関心がある」とした回答者のうち、59%が問7において「2. どちらかといえば参加したい」と回答する一方で、13.1%が「5. わからない」と回答している。
- ・問2で「3. あまり関心がない」とした回答者のうち、51.2%が問7において「3. どちらかといえば参加したくない」と回答し、19.6%が「5. わからない」と回答している。
- ・問2で「4. 全く関心がない」とした回答者の70.7%が問7において「4. 参加したくない」と回答している。
- ・これらの結果から、ボランティア・市民活動への関心度が高い人は参加意欲も高いといえそうである。

	総計	1. 参加したい	2. どちらかといえば参加したい	3. どちらかといえば参加したくない	4. 参加したくない	5. わからない	無回答
総計	1046	99	379	288	105	163	12
	100.0%	9.5%	36.2%	27.5%	10.0%	15.6%	1.1%
1. とても関心がある	83	55	18	3	2	3	2
	100.0%	66.3%	21.7%	3.6%	2.4%	3.6%	2.4%
2. ある程度関心がある	541	40	319	98	9	71	4
	100.0%	7.4%	59.0%	18.1%	1.7%	13.1%	0.7%
3. あまり関心がない	322	1	37	165	50	63	6
	100.0%	0.3%	11.5%	51.2%	15.5%	19.6%	1.9%
4. 全く関心がない	58	0	3	11	41	3	0
	100.0%	0.0%	5.2%	19.0%	70.7%	5.2%	0.0%
5. わからない	39	2	2	10	3	22	0
	100.0%	5.1%	5.1%	25.6%	7.7%	56.4%	0.0%
無回答	3	1	0	1	0	1	-

⑤

問2 あなたは、ボランティア・市民活動に関心はありますか。

問19 あなたの年齢を選択してください。

- ・問2で「1. とても関心がある」「2. ある程度関心がある」と回答した者の比率は、59.6%となっている。65歳以上の各年齢層では、「1. とても関心がある」「2. ある程度関心がある」という回答率は、概ね70%以上となっており、他の年齢層と比べ高いといえる。
- ・また、「3. あまり関心がない」という回答の比率は、30歳代（39.1%）や40歳代（38%）など、40歳代以下の年齢層で高くなっている。

	総計	1. とても関心がある	2. ある程度関心がある	3. あまり関心がない	4. 全く関心がない	5. わからない	無回答
総計	1046	83	541	322	58	39	3
	100.0%	7.9%	51.7%	30.8%	5.5%	3.7%	0.3%
1. 20歳未満	19	2	8	8	1	0	0
	100.0%	10.5%	42.1%	42.1%	5.3%	0.0%	0.0%
2. 20歳代	59	9	17	21	8	4	0
	100.0%	15.3%	28.8%	35.6%	13.6%	6.8%	0.0%
3. 30歳代	128	4	54	50	11	8	1
	100.0%	3.1%	42.2%	39.1%	8.6%	6.3%	0.8%
4. 40歳代	200	8	101	76	10	5	0
	100.0%	4.0%	50.5%	38.0%	5.0%	2.5%	0.0%
5. 50歳代	209	15	106	64	15	9	0
	100.0%	7.2%	50.7%	30.6%	7.2%	4.3%	0.0%
6. 60～64歳	71	4	37	26	3	1	0
	100.0%	5.6%	52.1%	36.6%	4.2%	1.4%	0.0%
7. 65～69歳	93	5	63	19	3	3	0
	100.0%	5.4%	67.7%	20.4%	3.2%	3.2%	0.0%
8. 70～74歳	100	16	58	21	5	0	0
	100.0%	16.0%	58.0%	21.0%	5.0%	0.0%	0.0%
9. 75～79歳	85	9	50	20	2	3	1
	100.0%	10.6%	58.8%	23.5%	2.4%	3.5%	1.2%
10. 80歳以上	75	11	43	14	0	6	1
	100.0%	14.7%	57.3%	18.7%	0.0%	8.0%	1.3%
無回答	7	0	4	3	0	0	—

⑥

問3 あなたは、ボランティア・市民活動に対してどのようなイメージを持っていますか。
問7 あなたは、ボランティア・市民活動に参加したいと思いますか。

- ・クロス表は次の頁に掲載。
- ・問7で「1. 参加したい」「2. どちらかといえば参加したい」の合計回答率が問7の単純集計における回答率(45.7%)よりも高くなっているのは、問3の次の選択肢である。
「7. 充実感や満足感を得られる活動である」(69.1%)、「6. 自分を成長させる活動である」(68.1%)、「4. 自分の経験や知識技能を活かすことができる活動である」(62.3%)、「1. 気軽にできる活動である」(62.1%)、「3. 多くの人と交流できる活動である」(60.7%)、「5. 人間性を豊かにすることができる活動である」(58%)、「11. 人や社会のために役立つ活動である」(49.8%)、「2. 自発的・自主的な活動である」(46.1%)。
- ・対して、問7で「3. どちらかといえば参加したくない」「4. 参加したくない」の合計回答率が問7の単純集計における回答率(37.6%)よりも高くなっているのは、問3の次の選択肢である。「8. 時間に余裕のある人が行う活動である」(55.5%)、「10. 自己犠牲を伴う活動である」(55%)、「9. 無償で行う奉仕活動である」(45.2%)、「12. 使命感を伴う活動」(42.1%)、「13. 経験や知識が必要な活動である」(39.5%)。なお、「2. 自発的・自主的な活動である」が37.4%となっている。
- ・また、問3で「14. 自分とは無関係のものである」とした回答者は、問7で「4. 参加したくない」という回答の比率が高くなっている。
- ・これらの結果から、市民活動に対するイメージを負担感の強いものではなく、自身を成長させるものなどポジティブな印象を持ってもらうための施策が必要だと考えられる。

	総計	1. 参加したい	2. どちらかといえば参加したい	3. どちらかといえば参加したくない	4. 参加したくない	5. わからない	無回答
総計	1046	99	379	288	105	163	12
	100.0%	9.5%	36.2%	27.5%	10.0%	15.6%	1.1%
1. 気軽にできる活動である	66	13	28	12	3	9	1
	100.0%	19.7%	42.4%	18.2%	4.5%	13.6%	1.5%
2. 自発的・自主的な活動である	609	59	222	176	52	97	3
	100.0%	9.7%	36.5%	28.9%	8.5%	15.9%	0.5%
3. 多くの人と交流できる活動である	290	39	137	63	8	38	5
	100.0%	13.4%	47.2%	21.7%	2.8%	13.1%	1.7%
4. 自分の経験や知識技能を活かすことができる活動である	175	24	85	36	11	18	1
	100.0%	13.7%	48.6%	20.6%	6.3%	10.3%	0.6%
5. 人間性を豊かにすることができる活動である	131	18	58	30	2	21	2
	100.0%	13.7%	44.3%	22.9%	1.5%	16.0%	1.5%
6. 自分を成長させる活動である	91	19	43	10	2	14	3
	100.0%	20.9%	47.3%	11.0%	2.2%	15.4%	3.3%
7. 充実感や満足感を得られる活動である	94	14	51	19	3	6	1
	100.0%	14.9%	54.3%	20.2%	3.2%	6.4%	1.1%
8. 時間に余裕のある人が行う活動である	265	5	64	103	44	44	5
	100.0%	1.9%	24.2%	38.9%	16.6%	16.6%	1.9%
9. 無償で行う奉仕活動である	396	22	125	124	55	64	6
	100.0%	5.6%	31.6%	31.3%	13.9%	16.2%	1.5%
10. 自己犠牲を伴う活動である	60	3	14	19	14	9	1
	100.0%	5.0%	23.3%	31.7%	23.3%	15.0%	1.7%
11. 人や社会のために役立つ活動である	474	42	194	121	39	74	4
	100.0%	8.9%	40.9%	25.5%	8.2%	15.6%	0.8%
12. 使命感を伴う活動である	38	2	14	15	1	6	0
	100.0%	5.3%	36.8%	39.5%	2.6%	15.8%	0.0%
13. 経験や知識が必要な活動である	38	4	13	12	3	6	0
	100.0%	10.5%	34.2%	31.6%	7.9%	15.8%	0.0%
14. 自分とは無関係のものである	28	0	1	7	17	3	0
	100.0%	0.0%	3.6%	25.0%	60.7%	10.7%	0.0%
15. わからない	22	1	2	5	4	10	0
	100.0%	4.5%	9.1%	22.7%	18.2%	45.5%	0.0%
16. その他	9	0	2	2	4	1	0
	100.0%	0.0%	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%

⑦

問7 あなたは、ボランティア・市民活動に参加したいと思いますか。
 問12 ボランティア・市民活動に参加する際、どのような活動であれば参加しやすいと思いますか。

- ・問12の単純集計では、「1. 好きなときに参加できる」(61.2%)や「6. 気軽に参加できそうな雰囲気がある」(50.5%)が回答率の高かった選択肢である。しかし、問7で「4. 参加したくない」とした回答者は、問7の他の回答者と比べこれらの回答率が低くなっている。また、「4. 参加したくない」では、問12の「2. いくらか活動の対価(お金、物など)が貰える」の回答率が26.7%と高めである。
- ・問7で「5. わからない」とした回答者では、問12の「6. 気軽に参加できそうな雰囲気がある」や「8. 楽しそう、興味のある活動である」の回答率がやや高い傾向にある。
- ・問7で「1. 参加したい」とした回答者のうち、44.4%が問12において「4. 社会のために役立つことが実感できる」と回答し、問7の他の回答者と比べ回答率がとても高い。

上段が問12の回答数で下段がnに対する回答率

	1. 好きなときに参加できる	2. いくらか活動の対価(お金、物など)が貰える	3. 同年代が多く参加している	4. 社会のために役立つことが実感できる	5. 趣味や特技を活かせる	6. 気軽に参加できそうな雰囲気がある	7. 自分に役立つ技能が得られる	8. 楽しそう、興味のある活動である
n=974	596 61.2%	154 15.8%	177 18.2%	237 24.3%	226 23.2%	492 50.5%	70 7.2%	299 30.7%
1. 参加したい	60	12	20	44	24	39	8	22
n=99	60.6%	12.1%	20.2%	44.4%	24.2%	39.4%	8.1%	22.2%
2. どちらかといえば参加したい	229	49	70	111	111	197	27	92
n=379	60.4%	12.9%	18.5%	29.3%	29.3%	52.0%	7.1%	24.3%
3. どちらかといえば参加したくない	162	52	49	45	46	125	18	92
n=288	56.3%	18.1%	17.0%	15.6%	16.0%	43.4%	6.3%	31.9%
4. 参加したくない	45	28	10	13	11	32	6	34
n=105	42.9%	26.7%	9.5%	12.4%	10.5%	30.5%	5.7%	32.4%
5. わからない	95	13	27	21	30	91	11	58
n=163	58.3%	8.0%	16.6%	12.9%	18.4%	55.8%	6.7%	35.6%
無回答	5	0	1	3	4	8	0	1

⑧

問7 あなたは、ボランティア・市民活動に参加したいと思いますか。

問19 あなたの年齢を選択してください。

- ・60歳以上で「1. 参加したい」「2. どちらかといえば参加したい」を合計した回答率が単純集計の比率（45.7%）よりも高くなっており、特に「8. 70～74歳」で57%となり各年齢層で一番高くなっている。これらの年齢層での参加意欲の高さがわかる。
- ・30歳代では「3. どちらかといえば参加したくない」（36.7%）という回答の比率が他の年齢層よりも高くなっている。
- ・また、30歳代～50歳代においては、「5. わからない」という回答の比率がやや高くなっている。

	総計	1. 参加したい	2. どちらかといえば参加したい	3. どちらかといえば参加したくない	4. 参加したくない	5. わからない	無回答
総計	1046	99	379	288	105	163	12
	100.0%	9.5%	36.2%	27.5%	10.0%	15.6%	1.1%
1. 20歳未満	19	5	5	4	3	2	0
	100.0%	26.3%	26.3%	21.1%	15.8%	10.5%	0.0%
2. 20歳代	59	11	14	19	7	8	0
	100.0%	18.6%	23.7%	32.2%	11.9%	13.6%	0.0%
3. 30歳代	128	7	33	47	16	24	1
	100.0%	5.5%	25.8%	36.7%	12.5%	18.8%	0.8%
4. 40歳代	200	9	76	58	21	34	2
	100.0%	4.5%	38.0%	29.0%	10.5%	17.0%	1.0%
5. 50歳代	209	15	74	56	21	41	2
	100.0%	7.2%	35.4%	26.8%	10.0%	19.6%	1.0%
6. 60～64歳	71	6	27	19	7	11	1
	100.0%	8.5%	38.0%	26.8%	9.9%	15.5%	1.4%
7. 65～69歳	93	8	44	21	7	13	0
	100.0%	8.6%	47.3%	22.6%	7.5%	14.0%	0.0%
8. 70～74歳	100	18	39	24	9	9	1
	100.0%	18.0%	39.0%	24.0%	9.0%	9.0%	1.0%
9. 75～79歳	85	11	33	22	7	9	3
	100.0%	12.9%	38.8%	25.9%	8.2%	10.6%	3.5%
10. 80歳以上	75	8	33	15	6	11	6
	100.0%	10.1%	41.8%	19.0%	7.6%	13.9%	7.6%
無回答	7	1	1	3	1	1	-

○年代をさらに男女別に分けると下表のとおり。

- ・男女で比較すると、40歳代以下は男性に参加意欲が低く、女性の参加意欲が高い。一方、65歳以上では男性の参加意欲が高く、女性の参加意欲が低くなっている。
- ・特に30歳代では、男性の参加意欲が低く、女性の参加意欲が高い結果が顕著である。

	総計		1. 参加したい		2. どちらかといえば参加したい		3. どちらかといえば参加したくない		4. 参加したくない		5. わからない		無回答	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総計	448	583	51	48	162	214	119	166	52	51	62	96	1	8
	100.0%	100.0%	11.4%	8.2%	36.2%	36.7%	26.6%	28.5%	11.6%	8.7%	13.8%	16.5%	0.2%	1.4%
1. 20歳未満	6	13	0	5	2	3	1	3	1	2	2	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	38.5%	33.3%	23.1%	16.7%	23.1%	16.7%	15.4%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 20歳代	28	31	6	5	5	9	9	10	3	4	5	3	0	0
	100.0%	100.0%	21.4%	16.1%	17.9%	29.0%	32.1%	32.3%	10.7%	12.9%	17.9%	9.7%	0.0%	0.0%
3. 30歳代	43	84	1	6	5	28	17	30	11	4	8	16	0	0
	100.0%	100.0%	2.3%	7.1%	11.6%	33.3%	39.5%	35.7%	25.6%	4.8%	18.6%	19.0%	0.0%	0.0%
4. 40歳代	73	126	5	4	23	53	26	32	9	12	10	23	0	2
	100.0%	100.0%	6.8%	3.2%	31.5%	42.1%	35.6%	25.4%	12.3%	9.5%	13.7%	18.3%	0.0%	1.6%
5. 50歳代	75	133	7	8	30	44	17	39	10	11	11	29	0	2
	100.0%	100.0%	9.3%	6.0%	40.0%	33.1%	22.7%	29.3%	13.3%	8.3%	14.7%	21.8%	0.0%	1.5%
6. 60～64歳	42	29	4	2	14	13	12	7	5	2	7	4	0	1
	100.0%	100.0%	9.5%	6.9%	33.3%	44.8%	28.6%	24.1%	11.9%	6.9%	16.7%	13.8%	0.0%	3.4%
7. 65～69歳	46	46	5	3	24	19	10	11	2	5	5	8	0	0
	100.0%	100.0%	10.9%	6.5%	52.2%	41.3%	21.7%	23.9%	4.3%	10.9%	10.9%	17.4%	0.0%	0.0%
8. 70～74歳	46	51	11	8	16	22	11	13	5	4	3	4	0	0
	100.0%	100.0%	23.9%	15.7%	34.8%	43.1%	23.9%	25.5%	10.9%	7.8%	6.5%	7.8%	0.0%	0.0%
9. 75～79歳	52	33	8	3	24	9	13	9	3	4	3	6	1	2
	100.0%	100.0%	15.4%	9.1%	46.2%	27.3%	25.0%	27.3%	5.8%	12.1%	5.8%	18.2%	1.9%	6.1%
10. 80歳以上	37	37	4	4	19	14	3	12	3	3	8	3	0	1
	100.0%	100.0%	10.8%	10.8%	51.4%	37.8%	8.1%	32.4%	8.1%	8.1%	21.6%	8.1%	0.0%	2.7%

⑨

問8 問7で「参加したくない」、「どちらかといえば参加したくない」と回答した方に伺います。参加したくないと思われた理由についてお選びください。

問25 あなたの世帯全体の年間収入（税込み額）は、およそどのくらいですか。

- ・クロス表は次頁に掲載。
- ・問25で「5. 600～700万円台」、「6. 800～900万円台」、「7. 1,000万円以上」とした回答者のうち、30%弱が問8で「1. 仕事が忙しい」と回答し、他の年収層と比較すると回答率が高くなっている。
- ・問25で「1. 収入なし」とした回答者のうち46.2%が問8で「3. 自分の生活だけで精一杯」と回答している。「2. 200万未満」では30.9%の回答率である。どちらも他の年収層と比較すると回答率が高くなっている。
- ・「2. 200万未満」では21.8%が「8. 身体状況から参加が難しい」とし、これも回答率が高くなっている。対して、「6. 800～900万円台」、「7. 1,000万円以上」では、「8. 身体状況から参加が難しい」の回答率は3%程度と低くなっている。

	1. 仕事 が忙しい	2. 子育てや 介護が忙しい	3. 自 分の生活 だけで 精一杯	4. 趣味 や余暇 活動を 優先	5. 活動 内容が わから ない	6. 参加 の機会 がない	7. 趣味 や関心 がない	8. 身体 状況か ら参加 が難し い	9. 気恥 ずかし い	10. 活 動の場 が不便	11. 活 動内容 への不 満	12. そ の他
総計	177 20.8%	81 9.5%	174 20.5%	114 13.4%	80 9.4%	45 5.3%	50 5.9%	65 7.7%	25 2.9%	11 1.3%	4 0.5%	23 2.7%
1. 収入 なし	1 7.7%	1 7.7%	6 46.2%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%
2. 200 万未満	7 12.7%	2 3.6%	17 30.9%	5 9.1%	5 9.1%	4 7.3%	3 5.5%	12 21.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
3. 200 ~300 万円台	26 14.1%	13 7.0%	40 21.6%	25 13.5%	17 9.2%	12 6.5%	11 5.9%	19 10.3%	6 3.2%	9 4.9%	0 0.0%	7 3.8%
4. 400 ~500 万円台	37 19.6%	17 9.0%	42 22.2%	25 13.2%	18 9.5%	10 5.3%	11 5.8%	17 9.0%	5 2.6%	1 0.5%	0 0.0%	6 3.2%
5. 600 ~700 万円台	30 28.0%	14 13.1%	22 20.6%	9 8.4%	9 8.4%	3 2.8%	5 4.7%	6 5.6%	4 3.7%	0 0.0%	2 1.9%	3 2.8%
6. 800 ~900 万円台	27 27.3%	11 11.1%	13 13.1%	16 16.2%	9 9.1%	5 5.1%	8 8.1%	3 3.0%	5 5.1%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%
7. 1,0 00万円 以上	26 28.3%	12 13.0%	17 18.5%	13 14.1%	7 7.6%	3 3.3%	4 4.3%	3 3.3%	4 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.3%
8. わか らない	18 20.0%	9 10.0%	17 18.9%	17 18.9%	10 11.1%	7 7.8%	5 5.6%	3 3.3%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	2 2.2%
無回答	5	2	0	2	4	1	3	1	0	0	1	0

⑩

問9 今までどのような形態でボランティア・市民活動に参加したことがありますか。

問12 ボランティア・市民活動に参加する際、どのような活動であれば参加しやすいと思いますか。

- ・クロス表は次頁に掲載。
- ・問9のどの活動の形態においても、問12で「1. 好きな時に参加できる」（61.2%）の回答率が一番高くなっている。特に、問9で「4. 団体に加入しないでやっている」とした回答者では63.2%となっている。ただし、問9で「1. 市民活動団体」、「2. NPO法人」、「3. 自治会・町内会」、「6. その他」とした回答者のうち45%前後は、「1. 好きな時に参加できる」を選択しておらず、参加のしやすさの共通の尺度とみなすことまではできないと思われる。
- ・問12の「6. 気軽に参加できそうな雰囲気がある」（50.5%）では、問9で「2. NPO法人」や「6. その他」と回答した者の回答率がやや低い一方で「4. 団体に加入しないでやっている」と回答した者の回答率がやや高くなっている。
- ・問12の単純集計で「8. 楽しそう、興味のある活動である」とした回答者の比率は30.7%である。問9で「1. 市民活動団体」「2. NPO法人」「3. 自治会・町内会」で活動経験があると回答した者のうち、30%前後が「8. 楽しそう、興味のある活動である」と回答するとともに、問9で「5. 今までに参加したことがない」とした回答者の33.2%が「8. 楽しそう、興味のある活動である」と回答している。これらの結果から、「8. 楽しそう、興味のある活動である」は参加経験の有無にかかわらず、参加のしやすさとして一定程度重視されていることがわかる。
- ・問12の「4. 社会のために役立つことが実感できる」の回答率は、問9で「1. 市民活動団体」「2. NPO法人」「4. 団体に加入しないでやっている」とした回答者では30%を超えている。

上段が問12の回答数で下段が n に対する回答率

	1. 好きな時に参加できる	2. いくらか活動の対価が貰える	3. 同年代が多く参加している	4. 社会のために役立つことが実感できる	5. 趣味や特技を活かせる	6. 気軽に参加できそうな雰囲気がある	7. 自分に役立つ技能が得られる	8. 楽しそう、興味のある活動である
n=974	596	154	177	237	226	492	70	299
	61.2%	15.8%	18.2%	24.3%	23.2%	50.5%	7.2%	30.7%
1. 市民活動団体	79	21	26	50	44	70	11	42
n=149	53.0%	14.1%	17.4%	33.6%	29.5%	47.0%	7.4%	28.2%
2. NPO 法人	27	9	7	18	14	19	4	15
n=48	56.3%	18.8%	14.6%	37.5%	29.2%	39.6%	8.3%	31.3%
3. 自治会・町内会	248	44	64	110	101	224	26	122
n=441	56.2%	10.0%	14.5%	24.9%	22.9%	50.8%	5.9%	27.7%
4. 団体に加入しないでやっている	43	11	8	22	28	40	2	14
n=68	63.2%	16.2%	11.8%	32.4%	41.2%	58.8%	2.9%	20.6%
5. 今までに参加したことがない	220	67	66	71	62	180	26	126
n=380	57.9%	17.6%	17.4%	18.7%	16.3%	47.4%	6.8%	33.2%
6. その他	34	16	11	18	19	25	8	11
n=65	52.3%	24.6%	16.9%	27.7%	29.2%	38.5%	12.3%	16.9%

⑪

問10 今までボランティア・市民活動に参加したことがある方に伺います。参加したことがある活動はどのような分野ですか。

問12 ボランティア・市民活動に参加する際、どのような活動であれば参加しやすいと思いますか。

- ・クロス表は次頁に掲載。
- ・問10で「1. 保健・医療・福祉」とした回答者においては、問12の「1. 好きな時に参加できる」(71.7%)や「4. 社会のために役立つことが実感できる」(33.7%)の回答率が高くなっている一方で、「8. 楽しそう、興味のある活動である」(20.7%)はやや低くなっている。また、「2. いくらか活動の対価が貰える」の回答率が問10の他の選択肢の回答者と比べやや高い。
- ・問10で「4. 芸術・文化・スポーツ」とした回答者においては、問12の「5. 趣味や特技を活かせる」(49.2%)の回答率が一番高くなっている。
- ・問10で「6. 災害救助支援」とした回答者においては、問12の「4. 社会のために役立つことが実感できる」(40%)の回答率が高くなっている。
- ・問10で回答者数が特に多いのは「3. まちづくり・まちおこし」と「7. 地域安全」である。どちらも「4. 社会のために役立つことが実感できる」とした回答率がやや高くなっている。
- ・これらの結果から、市民活動の参加者を増やしていくためには、一律での呼びかけではなく、分野ごとに異なるアプローチが必要となると考えられる。

上段が問12の回答数で下段がnに対する回答率

	1. 好きな時に参加できる	2. いくらか活動の対価が貰える	3. 同年代が多く参加している	4. 社会のために役立つことが実感できる	5. 趣味や特技を活かせる	6. 気軽に参加できそうな雰囲気がある	7. 自分に役立つ技能が得られる	8. 楽しそう、興味のある活動である
n=974	596 61.2%	154 15.8%	177 18.2%	237 24.3%	226 23.2%	492 50.5%	70 7.2%	299 30.7%
1. 保健・医療・福祉	66	21	14	31	20	44	8	19
n=92	71.7%	22.8%	15.2%	33.7%	21.7%	47.8%	8.7%	20.7%
2. 教育・研究	31	12	15	14	15	30	4	15
n=55	56.4%	21.8%	27.3%	25.5%	27.3%	54.5%	7.3%	27.3%
3. まちづくり・まちおこし	105	20	38	55	51	94	10	41
n=185	56.8%	10.8%	20.5%	29.7%	27.6%	50.8%	5.4%	22.2%
4. 芸術・文化・スポーツ	61	17	22	32	62	54	5	35
n=126	48.4%	13.5%	17.5%	25.4%	49.2%	42.9%	4.0%	27.8%
5. 自然・環境保全	32	5	8	14	6	28	2	15
n=51	62.7%	9.8%	15.7%	27.5%	11.8%	54.9%	3.9%	29.4%
6. 災害救助支援	17	4	6	12	6	9	4	3
n=30	56.7%	13.3%	20.0%	40.0%	20.0%	30.0%	13.3%	10.0%
7. 地域安全	107	18	25	56	37	100	14	48
n=182	58.8%	9.9%	13.7%	30.8%	20.3%	54.9%	7.7%	26.4%
8. 人権・平和	7	0	0	5	3	7	1	3
n=10	70.0%	0.0%	0.0%	50.0%	30.0%	70.0%	10.0%	30.0%
9. 国際協力・交流	11	4	5	9	8	11	3	8
n=23	47.8%	17.4%	21.7%	39.1%	34.8%	47.8%	13.0%	34.8%
10. 子ども・青少年育成	43	15	12	22	20	44	5	23
n=81	53.1%	18.5%	14.8%	27.2%	24.7%	54.3%	6.2%	28.4%
11. その他	17	6	2	9	14	19	5	13
n=38	44.7%	15.8%	5.3%	23.7%	36.8%	50.0%	13.2%	34.2%

問9 今までどのような形態でボランティア・市民活動に参加したことがありますか。

問13 ボランティア・市民活動を盛んにするには次のような方策が考えられます。この中で特にどのような方策が必要だと思えますか。

- ・クロス表は次頁に掲載。
- ・問13の単純集計で回答率が一番高い「6. 市民活動の活動紹介・普及活動」(38%)では、問9の「1. 市民活動団体」や「2. NPO法人」での回答率が高く、40%を超えている。問9で「5. 今までに参加したことがない」とした回答者における回答率も35.8%である。これらの結果から、参加経験を問わず必要な方策として重視されていると理解できる。
- ・問13の単純集計で二番目に回答率が高い「3. 活動に役立つ情報の積極的な発信」(36.5%)は、「1. 市民活動団体」や「2. NPO法人」での回答率が30%台後半を占めるとともに、「5. 今までに参加したことがない」とした回答者における回答率も36.1%に達している。問9で回答者数が最も多い「3. 自治会・町内会」での回答率は33.3%である。これらの結果から、参加経験を問わず必要な方策として重視されていると理解できる。
- ・問13の「9. ボランティア・市民活動を体験する機会の提供」(33%)の回答率は、「1. 市民活動団体」や「2. NPO法人」で20%台後半となっている一方で、「5. 今までに参加したことがない」(33.7%)や「6. その他」(33.8%)ではやや高くなっている。
- ・問13の「2. 活動する場所の支援」(30.2%)の回答率は、「3. 自治会・町内会」で32.7%に達し、「1. 市民活動団体」、「2. NPO法人」「4. 団体に加入しないで行っている」では40%を超えている。
- ・これらの結果から、実際に活動をしている回答者は、活動の場への支援を求めていると考えられる。
- ・問13の「1. 市民活動団体への補助金」を必要な方策と回答した比率は、問9での参加経験や参加形態を問わず、30%前後となっている。
- ・「1. 市民活動団体」、「2. NPO法人」での参加経験があるという回答者は、問13の「7. 市民活動の技術や知識などを得るための講座・研修会の開催」の回答率が20%を超えており、これは問9の他の回答者と比べ高くなっている。

上段が問13の回答数で下段がnに対する回答率

	1. 市民活動団体への補助金	2. 活動する場所の支援	3. 活動に役立つ情報の積極的な発信	4. 個人や団体への相談体制の充実	5. 市民活動団体の交流会の実施	6. 市民活動の活動紹介・普及活動	7. 市民活動の技術などを得るための講座の開催	8. 子どもや若者に対する教育機会の提供	9. ボランティア・市民活動を体験する機会の提供	10. 安心して活動できる保険制度の充実	11. 市民活動団体に対する寄付制度の充実
n=987	298 30.2%	298 30.2%	360 36.5%	73 7.4%	81 8.2%	375 38.0%	153 15.5%	146 14.8%	326 33.0%	138 14.0%	38 3.9%
1. 市民活動団体	40	64	54	7	16	65	30	16	40	28	6
n=149	26.8%	43.0%	36.2%	4.7%	10.7%	43.6%	20.1%	10.7%	26.8%	18.8%	4.0%
2. NPO 法人	13	21	19	4	3	22	13	5	12	6	0
n=48	27.1%	43.8%	39.6%	8.3%	6.3%	45.8%	27.1%	10.4%	25.0%	12.5%	0.0%
3. 自治会・町内会	133	144	147	24	36	155	75	58	135	58	7
n=441	30.2%	32.7%	33.3%	5.4%	8.2%	35.1%	17.0%	13.2%	30.6%	13.2%	1.6%
4. 団体に加入しないで行っている	20	28	22	8	5	26	11	11	22	10	2
n=68	29.4%	41.2%	32.4%	11.8%	7.4%	38.2%	16.2%	16.2%	32.4%	14.7%	2.9%
5. 今までに参加したことがない	98	89	137	31	28	136	47	51	128	49	18
n=380	25.8%	23.4%	36.1%	8.2%	7.4%	35.8%	12.4%	13.4%	33.7%	12.9%	4.7%
6. その他	22	23	16	3	3	24	9	8	22	10	4
n=65	33.8%	35.4%	24.6%	4.6%	4.6%	36.9%	13.8%	12.3%	33.8%	15.4%	6.2%

問9 今までどのような形態でボランティア・市民活動に参加したことがありますか。
問19 あなたの年齢を選択してください。

- ・問9の「5. 今までにボランティア・市民活動に参加したことがない」という回答の比率は、30歳代で一番高く、57.8%となっている。次いで、20歳代以下が40%台後半となっている。年齢が上がるにつれ、「5. 今までにボランティア・市民活動に参加したことがない」という回答の比率は下がっていくものの、60歳代以上79歳以下においても、30%前後を占めていることがわかる。
- ・「1. 市民活動団体」の回答の比率は低いものの、30歳代を除く全ての年代で10%程度の参加者がおり、65歳以上では20%を超えることがわかる。

上段が問9の回答数で下段がnに対する回答率

	1. 市民活動 団体	2. NPO 法人	3. 自治会・ 町内会	4. 団体に加 入しないで 行っている	5. 今までにボラ ンティア・市民 活動に参加した ことがない	6. その他
総計	149	48	441	68	380	65
n=988	15.1%	4.9%	44.6%	6.9%	38.5%	6.6%
1. 20歳未満	3	0	2	1	9	3
n=19	15.8%	0.0%	10.5%	5.3%	47.4%	15.8%
2. 20歳代	7	3	11	7	28	3
n=59	11.9%	5.1%	18.6%	11.9%	47.5%	5.1%
3. 30歳代	5	6	31	6	74	10
n=128	3.9%	4.7%	24.2%	4.7%	57.8%	7.8%
4. 40歳代	18	10	69	12	76	22
n=200	9.0%	5.0%	34.5%	6.0%	38.0%	11.0%
5. 50歳代	24	8	103	10	72	13
n=209	11.5%	3.8%	49.3%	4.8%	34.4%	6.2%
6. 60～64歳	12	3	37	4	21	1
n=71	16.9%	4.2%	52.1%	5.6%	29.6%	1.4%
7. 65～69歳	19	2	44	7	29	3
n=93	20.4%	2.2%	47.3%	7.5%	31.2%	3.2%
8. 70～74歳	21	6	49	11	29	5
n=100	21.0%	6.0%	49.0%	11.0%	29.0%	5.0%
9. 75～79歳	21	8	45	6	24	2
n=85	24.7%	9.4%	52.9%	7.1%	28.2%	2.4%
10. 80歳以上	18	2	47	4	16	3
n=75	24.0%	2.7%	62.7%	5.3%	21.3%	4.0%

問10 今までボランティア・市民活動に参加したことがある方に伺います。参加したことがある活動はどのような分野ですか。

問13 ボランティア・市民活動を盛んにするには次のような方策が考えられます。この中で特にどのような方策が必要だと思えますか。

- ・クロス表は次頁に掲載。
- ・問13において回答率が最も高いのは「6. 市民活動の活動紹介・普及活動」（38%）である。活動分野のなかでは「5. 自然・環境保全」（45.1%）や「7. 地域安全」（41.8%）の回答率が高めになっているが、どの活動分野でも必要な方策として認識されていることがわかる。
- ・問13の「3. 活動に役立つ情報の積極的な発信」（36.5%）についても、活動分野にかかわらず必要な方策とみなされている。
- ・問13の「9. ボランティア・市民活動を体験する機会の提供」（33%）は、「5. 自然・環境保全」（45.1%）や「9. 国際協力・交流」（39.1%）などで回答率が高くなっている。
- ・問13の「1. 市民活動団体への補助金」（30.2%）は、「5. 自然・環境保全」や「6. 災害救助支援」で10%台後半の回答率であるものの、ほとんどの分野で30%前後の回答率となっている。
- ・問13の「2. 活動する場所の支援」（30.2%）は、「4. 芸術・文化・スポーツ」（54.8%）や「5. 人権・平和」（50%）、「2. 教育・研究」（49.1%）などで回答率が高く、どの活動分野でも必要な方策として認識されている。
- ・問13の「7. 市民活動の技術や知識などを得るための講座・研修会の開催」（15.5%）は、「1. 保健・医療福祉」、「2. 教育・研究」、「6. 災害救助支援」の活動分野で回答率が20%を超えている。
- ・問13の「8. 子どもや若者に対する市民活動に関わる教育機会の提供」（14.8%）は、「2. 教育・研究」で回答率が21.8%あり、「5. 自然・環境保全」や「10. 子ども・青少年育成」で回答率が概ね20%となっている。
- ・これらの結果から、分野ごとに一律の支援ではなく、それぞれの状況にあった支援を検討していく必要があると考えられる。

上段が問13の回答数で下段がnに対する回答率

	1. 市民活動団体への補助金	2. 活動する場所の支援	3. 活動に役立つ情報の発信	4. 相談体制の充実	5. 市民活動団体の交流会の実施	6. 市民活動の活動紹介・普及活動	7. 市民活動の技術などを得るための講座の開催	8. 子どもや若者に対する教育機会の提供	9. ボランティア・市民活動を体験する機会の提供	10. 安心して活動できる保険制度の充実	11. 市民活動団体に対する寄付制度の充実
n=987	298 30.2%	298 30.2%	360 36.5%	73 7.4%	81 8.2%	375 38.0%	153 15.5%	146 14.8%	326 33.0%	138 14.0%	38 3.9%
1. 保健・医療・福祉 n=92	31 33.7%	38 41.3%	35 38.0%	7 7.6%	6 6.5%	37 40.2%	19 20.7%	15 16.3%	27 29.3%	15 16.3%	2 2.2%
2. 教育・研究 n=55	18 32.7%	27 49.1%	18 32.7%	5 9.1%	1 1.8%	19 34.5%	13 23.6%	12 21.8%	17 30.9%	7 12.7%	0 0.0%
3. まちづくり・まちおこし n=185	62 33.5%	58 31.4%	65 35.1%	11 5.9%	20 10.8%	62 33.5%	31 16.8%	28 15.1%	59 31.9%	30 16.2%	2 1.1%
4. 芸術・文化・スポーツ n=126	42 33.3%	69 54.8%	37 29.4%	12 9.5%	11 8.7%	48 38.1%	21 16.7%	12 9.5%	33 26.2%	15 11.9%	9 7.1%
5. 自然・環境保全 n=51	9 17.6%	21 41.2%	14 27.5%	3 5.9%	5 9.8%	23 45.1%	6 11.8%	10 19.6%	22 43.1%	10 19.6%	0 0.0%
6. 災害救助支援 n=30	5 16.7%	9 30.0%	9 30.0%	2 6.7%	1 3.3%	12 40.0%	6 20.0%	3 10.0%	6 20.0%	6 20.0%	1 3.3%
7. 地域安全 n=182	53 29.1%	59 32.4%	67 36.8%	11 6.0%	16 8.8%	76 41.8%	35 19.2%	17 9.3%	57 31.3%	29 15.9%	4 2.2%
8. 人権・平和 n=10	3 30.0%	5 50.0%	4 40.0%	1 10.0%	4 40.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%
9. 国際協力・交流 n=23	9 39.1%	9 39.1%	9 39.1%	2 8.7%	1 4.3%	7 30.4%	2 8.7%	4 17.4%	9 39.1%	2 8.7%	2 8.7%
10. 子ども・青少年育成 n=81	23 28.4%	31 38.3%	27 33.3%	6 7.4%	5 6.2%	34 42.0%	9 11.1%	16 19.8%	25 30.9%	11 13.6%	4 4.9%
11. その他 n=38	11 28.9%	7 18.4%	13 34.2%	5 13.2%	4 10.5%	11 28.9%	10 26.3%	6 15.8%	6 15.8%	4 10.5%	2 5.3%

IV 総括

○ボランティア・市民活動への関心、認知について

- ・今回の調査の結果、ボランティア・市民活動に関する市民の認知度は76.7%。また、関心がある回答は、59.9%となった。
- ・その中でも自治会・町内会の認知度が高く、市民活動・NPOの認知度は45.2%と半数に及ばない結果となった。
- ・ボランティア・市民活動の経験がある人ほど、認知度、関心が高い傾向がわかる。
- ・年齢層別に見ても、30歳代以下の年齢層の認知度・関心が低い結果となっている。一方、60歳以上の年齢層は、認知度・関心が高い結果となった。
- ・これらの結果から、市民活動に関する情報発信を若い層に向けて行っていくことで認知度・関心を高めることができるのではないかと。そのためにも、若い層に興味を持ってもらえるような情報の提供方法が必要になる。

○ボランティア・市民活動への参加について

- ・今回の調査の結果、ボランティア・市民活動に参加の意欲がある回答者は、46.3%。
- ・今までボランティア・市民活動に参加したことがないという回答が38.5%であることから、全体の60%程度は何らかの形で参加経験があることがわかった。
- ・一方、参加意欲が低い回答者は、38.1%。参加意欲の低い理由としては、仕事、子育て、介護などから活動に参加できないという理由が主で、市民活動自体の活動内容から参加意欲が低いわけではないことがわかった。
- ・ボランティア・市民活動への関心が高いと参加意欲も高くなる結果となった。
- ・参加意欲が高い回答者は、ボランティア・市民活動に関するイメージが他者との交流や知識、経験の蓄積が図れるなど、自身を高めるものであるというイメージを持っている回答者が多い。参加意欲の低い回答者は、自己犠牲を払うものや自分とは無関係であるという負担感を強いられるものという認識や、無関心な回答者が多くなっている。
- ・年齢層別に見ても、認知度同様、30歳代以下の年齢層で参加意欲が低い傾向にある。また、60歳以上の年齢層では参加意欲が高い傾向にある。

○今後の支援策、担い手対策への考察

- ・今回の調査の結果から、市民活動の活動紹介や情報発信の必要性が高い結果となった。その他にも、補助金の充実、活動の場の支援、体験機会の提供についても3割を超える結果となったため、これからも幅広い支援が必要だと考えられる。
- ・また、活動分野別で見ても、専門知識が必要な活動の実施のため、知識を得るための講座等の開催が必要だという回答も一定数あることから同様のことが言える。
- ・今後、ボランティア・市民活動の参加者を増やしていくためには、若い世代への周知や市民活動に対するマイナスイメージの払拭が必要となることが考えられる。
- ・また、参加経験の有無にかかわらず、楽しそうな活動や興味を持ってもらえる活動であれば参加しやすいと感じるという結果からも同様のことが言える。
- ・参加者を増やすための施策として、興味、関心を持ってもらうための情報発信事業や、興味はあるが、活動をしていない人向けの体験機会の提供、既に活動している方や団体

向けの補助金の交付、場の支援など、ボランティア・市民活動への関り方の違いによって段階を踏んだ幅広い支援施策が必要になると考えられる。

- また、ボランティア・市民活動は、福祉や環境、文化など多様な分野に分かれ、それぞれの分野で抱かれるイメージが異なることから、情報発信等についても一律の方法ではなく、活動の特徴を取り入れたうえでの広報が必要となると考えられる。

令和元年度ボランティア・市民活動に関する意識調査
令和2年3月

調査・分析：

○中央学院大学

李 憲模（法学部長）

土屋 耕平（准教授）

○我孫子市

市民活動支援課

※所属・肩書は調査時のものです。

発行：我孫子市市民生活部市民活動支援課

〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地

04-7185-1111